

平成23年度（2011年度）
事業報告書

公益財団法人 日本テニス協会

[目次]

平成23年度主要会議報告		3頁
平成23年度表彰伝達式受賞者一覧		4頁
平成23年度事業報告書(寄付行為事業別)		5頁
平成23年度事業報告書(本部・専門委員会別)		
総務・財務本部	総務委員会	9頁
	公益法人化対策委員会	10頁
	広報委員会	12頁
	テニスミュージアム委員会	13頁
強化本部	ナショナルチーム	15頁
	技術／サイエンス／タレント発掘委員会	22頁
	ジュニア委員会	24頁
	学生強化委員会	27頁
	ワンコイン制度推進委員会	27頁
	クラブ JTA 委員会	28頁
普及・指導本部	公認指導者養成委員会	30頁
	普及推進委員会	32頁
	中体連対策委員会	33頁
	スポーツ環境委員会	35頁
	アンチ・ドーピング委員会	36頁
トーナメント本部	ジャパンオープン委員会	37頁
	トーナメント委員会	38頁
	国体委員会	44頁
	ベテラン委員会	47頁
	実業団委員会	49頁
	審判委員会	51頁
専務理事直轄	全国プロジェクト	53頁
	財務管理委員会	53頁
常務理事会直轄	倫理委員会	54頁
	危機管理委員会	54頁
	国際委員会	54頁

平成23年度主要会議報告

平成23年

3月17日(木)	第1回理事会	岸記念体育会館1階会議室
4月21日(木)	第1回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館5階会議室
5月12日(木)	第2回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館1階会議室
5月24日(火)	第2回理事会	岸記念体育会館1階会議室
5月24日(火)	第1回評議員会	岸記念体育会館5階会議室
6月16日(木)	第3回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館1階会議室
7月19日(火)	第4回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館5階会議室
8月23日(火)	第5回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館5階会議室
9月15日(木)	第6回常務理事・本部長・委員長会議	有明コロシム北側2F
10月14日(金)	第7回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館5階会議室
11月17日(木)	第8回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館5階会議室
12月15日(木)	第9回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館1階会議室

平成24年

1月19日(木)	第10回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館5階会議室
2月14日(火)	第11回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館1階会議室
3月08日(木)	第12回常務理事・本部長・委員長会議	岸記念体育会館5階会議室
3月15日(木)	第3回理事会	岸記念体育会館1階会議室
3月15日(木)	第2回評議員会	岸記念体育会館5階会議室
3月19日(月)	最初の評議員選定委員会	岸記念体育会館5階会議室

以上

平成23年度表彰伝達式受賞者一覧

特別年間功労賞

クルム伊達公子

功労賞

日本テニス協会：堀川忠史・黒川光博・佐藤新・樋口博信・磯部修一・岩崎彌廣
田中信美・馬瀬隆彦・山下寛・稲田睦・合瀬武久・緒方うらら
井沢信一・黒澤弘忠・梅原豊治・柏井之彦

北海道テニス協会：山下宏

関東テニス協会：鷺田典之・中村吉人・久保田浩文・望月政男・飯室訓勇
小坂橋昇・小野敏郎・荒深良子

北信越テニス協会：三日市政司・前多禧久雄

東海テニス協会：山崎篤・小川敏

関西テニス協会：岩田祐加子・関根吉晴・瀬村紘一

中国テニス協会：市川倭文枝

九州テニス協会：玉那覇有紀

年間最優秀選手賞

日本テニス協会：錦織圭

優秀選手賞

ナショナルチーム：伊藤竜馬・青山修子・高畑寿弥

ベテラン委員会：小泉幸枝

年間最躍進賞

ナショナルチーム：添田豪・森田あゆみ

ベストフェドカッププレイヤー賞

ナショナルチーム：森田あゆみ

ベストデビスカッププレイヤー賞

ナショナルチーム：添田豪

ジュニア大賞

ナショナルチーム：内田海智

最優秀トーナメントディレクター賞

トーナメント委員会：野地俊夫

優秀指導者賞

ナショナルチーム：増田健太郎・岩本功・竹内映二

最優秀テクニカルサイエンス・サポート賞

強化本部：中田研

ベストボールパーソン賞

審判委員会：小川麻実

ベストラインパーソン賞

審判委員会：望月よし子

優秀団体賞

日本テニス協会：リビック（男子テニスチーム）

日本テニス協会：福井工業高等専門学校

クラブ賞

日本テニス協会：グラスコート佐賀テニスクラブ

メディア賞

広報委員会：日刊スポーツ新聞社

以上

公益財団法人 日本テニス協会 平成23年度事業報告書

自平成23年4月1日至平成24年3月31日

1. テニスの普及及び指導

- (1) ブロックステージでの発掘、育成フィールド構築（ジュニア委員会）
- (2) 中学校、高等学校指導者及び選手に対する支援事業（ジュニア委員会）
- (3) ナショナルテクニカルコーチブロック派遣ジュニア及び指導者講習会（ジュニア委員会）
- (4) JTA ホームページを利用した広報事業（ジュニア委員会）
- (5) ブロックステージでの発掘、育成フィールド構築（ジュニア委員会）
- (6) ホームページの整備と充実を図る（公認指導者養成委員会）
- (7) 養成講習会における講習内容の充実および講師の養成（公認指導者養成委員会）
- (8) 公認指導者を対象とした教本作成の制作（公認指導者養成委員会）
- (9) 各養成講習会での検定会（公認指導者養成委員会）
- (10) 日本中体連加盟に関する促進事業（中体連対策委員会）
- (11) JOC スポーツ環境委員会および他の競技団体、テニス団体そして環境保全団体と連携し、テニス界を中心とした自然環境保全と整備を目的とした活動【3R 推進】（スポーツ環境委員会）

2. 全日本テニス選手権大会及びその他のテニス競技会の開催並びに国内で開催されるテニス競技会の後援、公認

- (1) 国内大会の開催ならびに支援、JTA 公式トーナメントの開催ならびに支援、2012年テニスカレンダーの日程調整、JTA ランキングシステムの拡充と検証、選手登録の拡充と管理（トーナメント委員会）
- (2) 第35回全日本都市対抗テニス大会抽選会ならびに準備等（国体委員会）
- (3) 第72回国民体育大会（愛媛県）第1回中央競技団体正規視察（国体委員会）
- (4) 全日本都市対抗テニス大会の実施（国体委員会）
- (5) 第66回国民体育大会抽選会並びに準備等（国体委員会）
- (6) 第66回国民体育大会（山口県）開催（国体委員会）
- (7) 第72回全日本ベテランテニス選手権大会の開催（ベテラン委員会）
- (8) 第35回全日本グラスコートベテラン選手権大会の主催及び運営協力（ベテラン委員会）
- (9) 47都道府県協会主催ベテラン JOP グレード E 大会 FGH 大会の推進と運営協力（ベテラン委員会）
- (10) 日本スポーツマスターズ・テニス競技の運営と協力（ベテラン委員会）
- (11) 第26回テニス日本リーグの開催（実業団委員会）
- (12) 第25回全国実業団対抗テニストーナメント（A大会）の開催（実業団委員会）
- (13) 第50回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス）の開催（実業団委員会）
- (14) 定例会議、日本リーグ関係会議他の開催（実業団委員会）
- (15) キャリアサポート部会の運営（実業団委員会）
- (16) 実業団学生交流会等の共同イベントの開催（実業団委員会）
- (17) 事務局業務委託管理（実業団委員会）
- (18) 審判員派遣事業の開催（審判委員会）

3. テニスに関する国際競技会を開催し、又は国際競技会への代表者の選考及び派遣並びに外国からの選手等の招聘

- (1) 2011 楽天ジャパンオープンの開催（ジャパンオープン委員会）
- (2) 国際大会の開催ならびに支援、国際大会のより良い運営の検討（トーナメント委員会）
- (3) 国際ベテラン大会への選手派遣（ベテラン委員会）

4.テニスに関する公認指導員及び審判員の養成並びに資格認定

- (1)公認スポーツ指導者認定事業（公認指導者養成委員会）
- (2)都道府県において、指導員・上級指導員認定事業に関しての協力（公認指導者養成委員会）
- (3)S級およびマスターコーチ・教師または養成講習会の担当講師への研修会の開催（公認指導者養成委員会）
- (4)日本体育協会発行 JTA 推薦マスターコーチ・マスター教師の任命（公認指導者養成委員会）
- (5)地域・各団体のリフレッシュ講習会等の公認（公認指導者養成委員会）
- (6)S級エリートコーチ認定事業（公認指導者養成委員会）
- (7)「公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会」の開催（公認指導者養成委員会）
- (8)第7回プロフェッショナル対象の教育研修会の実施（公認指導者養成委員会）
- (9)ITF コーチャーズカンファレンスへ委員派遣（公認指導者養成委員会）
- (10)有資格指導者への情報提供（公認指導者養成委員会）
- (11)国際審判員、レフェリー養成事業の開催（審判委員会）
- (12)国内審判員養成、拡大事業への開催（審判委員会）
- (13)公認審判員管理登録事業の開催（審判委員会）

5.テニスの競技力向上

- (1)ナショナル代表チーム（TeamJapan）の遠征（ナショナルチーム）
- (2)トップジュニアテニス選手を対象としたスポーツ科学的サポートに関する調査研究【toto 助成金対象事業】（技術／サイエンス／タレント発掘委員会）
- (3)ジュニアテニスのスポーツ医・科学情報の推進・啓発と障害予防のための調査研究【toto 助成金対象事業】（技術／サイエンス／タレント発掘委員会）
- (4)地域の指導者に対するスポーツ医科学情報の受発信とインフラ整備【toto 助成金対象事業】（技術／サイエンス／タレント発掘委員会）
- (5)ITF Worldwide Coaches Workshop への参加【スポーツ医・科学情報収集】（技術／サイエンス／タレント発掘委員会）
- (6)タレント育成のための JOC 強化拠点を利用したモデルケーストレセン構築事業【toto 助成金対象事業／JTA 強化本部モデル事業】（技術／サイエンス／タレント発掘委員会）
- (7)ナショナルメソッド地域伝達講習会（ジュニア委員会）
- (8)大学生テニス大会を取り巻く環境の改善（学生強化委員会）
- (9)高校3年生との合同練習会（学生強化委員会）
- (10)実業団チームとの合同練習会（学生強化委員会）
- (11)ジュニア事業としてウインブルドンジュニア遠征支援（クラブ JTA 委員会）
- (12)ジュニア事業としてナショナルジュニア強化合宿（U14 男子・女子）支援（クラブ JTA 委員会）
- (13)ジュニア大会のより発展と活性化に協力（トーナメント委員会）

6.テニスに関する競技規則及びアマチュア規定の制定並びにテニスランキングの作成

- (1)ナショナルジュニアランキングシステムの策定準備（ジュニア委員会）
- (2)ジュニア大会機構の環境整備（ジュニア委員会）
- (3)JOC、JTA 共同プロジェクト「タレント発掘・競技者育成プログラム」推進事業（ジュニア委員会）
- (4)ジュニア大会に関する事項（トーナメント委員会）

7.日本テニス界を代表して、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、国際テニス連盟（略称 ITF）及びアジアテニス連盟（略称 ATF）に加盟すること

- (1)公益財団法人日本体育協会 国体委員会への出席（国体委員会）
- (2)公益財団法人日本体育協会主催日本スポーツマスターズ委員会への出席（ベテラン委員会）

- (3)国際テニス連盟及びアジアテニス連盟、日本オリンピック委員会他団体の会議出席、並びに行事への参加。海外各国協会、大会への協力活動、及び関係者への対応と情報伝達（国際委員会）
- (4)海外国際大会への出席、及び総合国際競技会への参加（国際委員会）
- (5)国際団体会議・行事への出席（国際委員会）

8.年鑑その他の刊行物の発行

- (1)「JTA NEWS」「PLAYERS GUIDE」等、出版物の企画、編集、発行（広報委員会）
- (2)ルールブックの編集と発行事業の開催（審判委員会）

9.テニスに関する用具及び施設の検定並びに公認

- (1)テニスに関する用具の推薦、ボールの公認（総務委員会）

10.テニス施設の管理運営

- (1)味の素ナショナルトレーニングセンターテニスコートの運用管理と効果的な施設活用(ナショナルチーム)

11.その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

- (1)JTA 表彰（総務委員会）
- (2)選手報奨金の授与（総務委員会）
- (3)諸規程の新設・改定（総務委員会）
- (4)各種イベント後援申請等の審査（総務委員会）
- (5)新公益法人制度への対応（公益法人化対策委員会）
- (6)JTA コミュニケーションとしての活動（広報委員会）
- (7)JTA 公式サイトの質的向上（広報委員会）
- (8)課金動画配信サイト「テニスオンライン」の充実と運用（広報委員会）
- (9)メールマガジン「TENNIS FAN」の継続的配信と時期構想（広報委員会）
- (10)主要大会における広報活動（広報委員会）
- (11)主要大会でのプレスルームの運営（広報委員会）
- (12)日本テニス協会出版物の企画、編集、制作（広報委員会）
- (13)ライブスコアサイト構築のサポート（広報委員会）
- (14)メディアメールの継続的発信（広報委員会）
- (15)JTA マーチャンダイジングの立ち上げ（広報委員会）
- (16)テニス史資料の収集・保存・活用、および展示・広報活動（テニスミュージアム委員会）
- (17)ワンコイン制度の定着と発展（ワンコイン制度推進委員会）
- (18)クラブ JTA のファンクラブ的運営の実行（クラブ JTA 委員会）
- (19)クラブ JTA 会員組織の拡大（クラブ JTA 委員会）
- (20)PLAY+STAY プログラムの普及推進（普及推進委員会）
- (21)JTA カンファレンス 2012 の開催（普及推進委員会）
- (22)全国都道府県の活動実態調査（普及推進委員会）
- (23)テニスの日 イベント開催（普及推進委員会）
- (24)ITN 査定（普及推進委員会）
- (25)ホームページの有効活用（普及推進委員会）
- (26)テニスの日共同イベント（普及推進委員会）
- (27)ドーピング検査の実施と協力（アンチ・ドーピング委員会）
- (28)アンチ・ドーピングの啓蒙（アンチ・ドーピング委員会）
- (29)ドクター・トレーナーの派遣（ドクター・トレーナー部会）
- (30)テニス障害の対策（ドクター・トレーナー部会）

- (31)選手の痙攣防止対策の立案・提言（ドクター・トレーナー部会）
- (32)スポーツビジョン[スポーツに必要な視覚能力]の啓蒙と普及（ドクター・トレーナー部会）
- (33)ドクター・トレーナー業務の充実（ドクター・トレーナー部会）
- (34)地域メディカルサポート体制の整備（ドクター・トレーナー部会）
- (35)大会の開催並びに支援、より良い運営の検討・サポート（ビーチテニス部会）
- (36)会議の開催（ビーチテニス部会）
- (37)他スポーツ・諸外国テニス界の審判育成システムの調査事業の開催（審判委員会）
- (38)審判関連情報提供事業の開催（審判委員会）
- (39)47都道府県トレーニングセンター（ふるさとトレセン）設置及び推進に向けた活動（全国プロジェクト）
- (40)JTA の健全な財務体制確立と維持及び適正な会計処理に向けて提言を行う（財務管理委員会）
- (41)倫理規程の浸透と徹底ならびに倫理観の醸成（倫理委員会）
- (42)倫理規程の改定（倫理委員会）
- (43)危機管理の徹底と安全対策の向上（危機管理委員会）
- (44)その他、JTA 専門委員会活動と事業

平成23年度事業計画に基づき、以下の委員会は専門委員会分掌事項に定められた業務を分担遂行した。

総務委員会、公益法人化対策委員会、広報委員会、テニスミュージアム委員会、ナショナルチーム、技術／サイエンス／タレント発掘委員会、ジュニア委員会、学生強化委員会、ワンコイン制度推進委員会、クラブ JTA 委員会、公認指導者養成委員会、普及推進委員会、中体連対策委員会、スポーツ環境委員会、アンチ・ドーピング委員会、ジャパンオープン委員会、トーナメント委員会、国体委員会、ベテラン委員会、実業団委員会、審判委員会、全国プロジェクト、財務管理委員会、倫理委員会、危機管理委員会、国際委員会

以上

公益財団法人日本テニス協会 平成23年度 事業報告書

総務・財務本部（本部長：浅沼 道成）

総務委員会（委員長：秋田 修廣）

事業区分：9

事業名：テニスに関する用具の認定・公認

当該期間中に以下、公認、推薦申請（合計44社）を処理した。

- ① 公認：ボール6社11球
- ② 推薦：ラケット、ウェア、コート、シューズ、ネット、ストリング、ラインテープ、スポーツコンタクト。スポーツサングラス。低周波治療器、健康補助食品、計38社

事業区分：11

事業名：JTA 表彰

表彰規程に基づき表彰者の選定を行った。表彰者に対しては、平成23年5月24日（火）岸記念体育会1階スポーツマンクラブにおいて36件の表彰を行った。

- ① 功労賞：20名【高橋常治・戸川稔朗・高橋俊明・松原繁雄・泉山元・北林康司・杉澤雅敦・井村孝一・大友昭敏・南野泰造・松本憲明・伍堂英雄・陰山正敏・木下洋子・坂井幸司・梶一雄・浜脇久子・島村安彦・近藤正昭・重松隆矣】
- ② 最優秀団体賞：1社【リビック（北日本物産株式会社）】
- ③ 優秀団体賞：1校2チーム【早稲田大学 男子・女子】
- ④ 最優秀選手賞：1名【国枝慎吾】
- ⑤ 優秀選手賞：1名【森田あゆみ】
- ⑥ ジュニア大賞：3名【内田海智・河内一真・守谷総一郎】
- ⑦ 最優秀トーナメントディレクター賞：1名【川廷尚弘】
- ⑧ 優秀指導者賞：1名【岩本功】
- ⑨ 最高労ボランティア賞：1名【伊東弘一】
- ⑩ 企業賞：3社【ヨネックス株式会社・エチカトレーニング株式会社・鶴沢ネット株式会社】
- ⑪ メディア賞：2社【愛媛新聞社・日本経済新聞社】

事業区分：11

事業名：JTA 特別表彰

表彰規程に基づく特別表彰対象者は該当がなかった。

事業区分：11

事業名：JTA オリジナルコーチの表彰

表彰規程に基づくオリジナルコーチの表彰対象者は該当がなかった。

事業区分：11

事業名：選手報奨金の授与

選手報奨金規程に基づき表彰者の選定を行った。

年間表彰者：男子3名【錦織・添田・伊藤】

女子5名【森田・土居・瀬間詠・クルム伊達・藤原】 合計365万円

事業区分：11

事業名：諸規程の新設・改定

公益法人化に向けた規程の改定は公益法人化対策委員会にて行った。

事業区分：11

事業名：各種イベント後援申請の審査

年間19イベントの共催・後援・公認を審査し常務理事会・本部長会議に上程した。

- ① 共催：全日本学生テニス選手権大会
全日本大学対抗テニス王座決定試合
全日本学生室内テニス選手権大会
全国高等専門学校体育大会
全国選抜高校テニス大会
日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流
日・韓・中ジュニア交流競技会
2012年日中成人スポーツ交流事業
- ② 後援：第25回全国ショートテニストーナメント
第7回グラスホッパー全国ジュニアテニス in 佐賀
第24回関東車いすテニス大会
ねんりんピック宮城・仙台2012テニス交流大会
第8回グラスホッパー全国ジュニアテニス in 佐賀
第8回文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦
第28回飯塚国際車いすテニス大会
第29回全日本学生庭球同好会選抜ダブルストーナメント
- ③ 公認：三沢国際車いすテニス大会
2011 Piece Cup 第22回国際交流車いすテニス大会
第17回国際車いすテニス大会‘仙台オープン2011’

以上

公益法人化対策委員会（委員長：高橋 甫）

事業区分：11

事業名：新公益法人制度への対応

平成22年度に採択された日本テニス協会の公益財団法人化に向けた基本方針とスケジュールに基づき、本部長会議、常務理事会での審議等を通じて準備作業を行い、平成23年8月31日に内閣府に移行認定申請を行なった。約3ヵ月に及ぶ認定当局との修正協議、平成24年1月6日の公益認定等委員会による申請認可答申を経て、平成24年3月21日に内閣総理大臣より本協会の公益財団法人への移行の認定証が発行された。これにより、本協会は4月1日の移行登記を行ない、スケジュール通り本協会の公益財団法人への移行がなされた。従って、平成23年度においては公益財団法人への移行に必要とされる制度面での対応のための一連の機関決定がなされた。その主なものには、役員等の報酬及び費用に関する規程を始めとする新規程の制定、修正協議での認定当局からの指摘に基づき行われた①平成22年3月開催理事会・評議員会で決議された定款案の改正及び再改訂及び②新規程の制定及び現行規定の改正、そして平成23年3月開催の評議員選定委員会により選任された最初の評議員の一部交代に関する機関決定が含まれる。

事業内容

1. 移行認定申請に必要とされる事業、財務、その他の書類の準備

平成23年8月を目途とした移行認定申請のために、事業概要説明書を各本部および委員会の協力および認定当局の指導を得て、内閣府公益認定当委員会のガイドラインに基づき作成した。また新法人の財務に関する公益認定の基準に基づき、財務その他の申請別紙書類を準備した。これらは、平成23年8月31日、内閣総理大臣宛移行認定申請書として提出された。平成23年10月から12月にかけて行われた認定当局との修正協議の結果、公益目的事業会計から法人会

計への一部事業収入の配賦に関する指摘がなされ、事業概要説明から収益事業を削除することとなった。それに伴い、寄附金制度等に関する新規の制定、登録制度等に関する現行規定の改正そして収益事業に関する定款案の改正も行った。

2. 新法人の定款で制定が想定されている規程の準備と採択及び現行規程の新公益法人制度との整合性の確保

新法人の定款で必要とされている規程の制定および現行改定を行った。制定・改訂の対象となった規程は、倫理規程、助成金交付規程、財産管理運用規程、評議員選定委員会規程、役員等の報酬及び費用に関する規程、職務権限規程、本部・委員会規程、選手・審判員等登録規程、情報公開規程、個人情報保護規程であった。

3. 公益財団法人日本テニス協会定款の英訳版の作成

内閣府の関連法令の英訳に準拠して新法人の定款の英語版を作成した。併せて、2005年8月23日付に作成された「財団法人日本テニス協会組織役名(和英)」の改訂を行った。これらの資料は平成24年3月開催の理事会・評議員会で配布され、新法人の目的である「国際親善に寄与・貢献すること」そして本協会会長の提唱する「フェア、チームワーク、グローバル」に対応するものであることが付言された。

4. 新法人へのスムーズな移行のために必要な制度運用面での体制の整備及び公益財団法人化に関する加盟団体・日本テニス協力団体となる諸団体等からの問い合わせへの対応

平成24年4月1日からの新法人への移行準備を円滑に行うため、平成23年4月1日より公益財団法人への移行を担当する常勤の事務職員を採用した。また新法人の姿に関する情報提供を理事会及評議員会を始めとする諸々の会合等を通じて行うとともに、平成23年10月31日には、地域・都道府県テニス協会会長宛に「財団法人日本テニス協会の公益財団法人化について」と題する文書を送付、移行認定申請を終えた段階での本協会としての財政面を含む制度改革への具体的対応の説明を行った。分担金・還付金制度廃止については、平成23年10月開催理事会で助成金交付規程を採択し、同制度廃止に伴う経過措置への申し込みに関する文書を同年11月25日に発送し、本協会としての年度内での対応の体制を整えた。また移行と共に新法人は税法上特定公益増進法人となり、新法人に寄附する個人と法人は優遇税制を受けることとなり、さらに個人寄附者にとってより有利な優遇措置である税額控除の恩恵を受けることが可能となるよう、関係委員会との連携により寄附制度の円滑な導入のための体制作りを行った。なお、平成24年度の助成金交付については、平成24年3月8日の助成事業審査委員会により審議がなされ、その審議経過は同月開催の理事会・評議員会で報告された。

5. 公益財団法人日本テニス協会に関する情報提供(説明資料の作成を含む)

4月1日をもって財団法人日本テニス協会が公益財団法人への移行にする旨を一般に周知するため、移行登記完了とともに本協会ホームページ等を通じて発表する準備を行った。併せて、本協会の内外の関係者向けに、「公益法人としての日本テニス協会 - 何がどう変わったのか」を作成し、新法人への理解の向上と運営の円滑化のための準備を進めた。

6. 関係委員会との連携による日本テニスネットワーク構築の準備

平成22年9月臨時理事会で決議された「新法人の姿」では、本協会は加盟団体としての地域・都道府県協会と共にITテニスネットワークを構成し、双方は可能な限り情報を共有するとされた。テニスネットワークの立ち上げのための準備を本年度より開始、平成25年度からの立ち上げを念頭に、平成24年度にその具体案を加盟団体に提示することとした。

以上

広報委員会（委員長：八田 修孝）

事業区分：11

事業名：JTA コミュニケーションとしての活動。

事業内容：本協会（各本部、各委員会）から配信される多くの情報を、各地域・都道府県協会、選手、メディア、一般テニス愛好家の方々に様々な形で伝達すること、中でも、日本テニス協会や日本選手とテニスファンとの間のパイプ役となることを最大のテーマとして活動した。

事業区分：11

事業名：JTA 公式サイトへの質的向上

事業内容：JTA ウェブサイトを、利用者がより分かりやすく、便利でさらに興味のわく、最新でニーズに合ったものになるように、随時情報の更新に務めた。トップページ「最新レポート」は年間で29回、「JTA OFFICIAL BLOG」は200回の更新を行ない、メールマガジン「TENNIS FAN」は年間で125本を発行した他、4大大会や国別対抗戦などへの記者派遣を含め、日本人選手の海外での活躍や、国内主要大会の報道も積極的に行なった。

事業区分：11

事業名：課金動画配信サイト「テニスオンライン」の充実と運用

事業内容：従来の「テニスオンライン」では、全日本テニス選手権、日本リーグをはじめ、ジュニアを含む国内主要大会の模様を配信した。また新たに「テニスオンライン EX」をポータルサイト「ファンプラス」内に立ち上げ、ナショナルチームの練習を紹介するなど、よりコアなファン向けの番組の制作を行った。

事業区分：11

事業名：メールマガジン「TENNIS FAN」の継続的配信と次期構想

事業内容：従来のジャパンオープン、全日本選手権、国別対抗戦、4大大会特集の他、よりタイムリーな情報発信を目指し、年間で125本を発行した。

事業区分：11

事業名：主要大会における広報活動

事業内容：ジャパンオープン、全日本選手権、国別対抗戦において、記者発表の運営、印刷物の作成等を行なった。

事業区分：11

事業名：主要大会でのプレスルームの運営

事業内容：ジャパンオープン、全日本選手権、国別対抗戦において、プレスルームの運営を行なった。

事業区分：11

事業名：日本テニス協会出版物の企画、編集、制作

事業内容：ジャパンオープン、全日本選手権、国別対抗戦のプログラムなどの企画、編集、政策を行なった。

事業区分：11

事業名：ライブスコアサイト構築のサポート

事業内容：全日本選手権においてライブスコアの運営を行なった。

事業区分：11
事業名：メディアメールの継続的発信
事業内容：「JTA MEDIA MAIL」として記者発表時などにメディアメールを配信した。

事業区分：11
事業名：メディア規則作成の準備
事業内容：今年度は実施できなかったため、継続して検討したい。

事業区分：11
事業名：メディア向けテニス勉強会の開催
事業内容：今年度は実施できなかったが、24年度にはロンドン五輪に向けた勉強会を実施予定。

事業区分：11
事業名：JTA マーチャндаイジングの立ち上げ
事業内容：日本テニス協会の認知度向上を目指し、一般テニス愛好家向けに、クオリティの高いJTA公式グッズの企画・制作を行なった。

事業区分：11
事業名：携帯サイト構築への準備
事業内容：今年度は実施できなかったため、継続して検討したい。

事業区分：8
事業名：「JTA NEWS」「PLAYERS GUIDE」等、出版物の企画、編集、発行
事業内容：「JTA NEWS」の発行によって、各々の組織の方向性を明確に伝達するとともに、ホームページ上でも告知し認知度を高める。東京運動記者クラブの協力で毎年発行する「PLAYERS GUIDE」の質的向上と販売増加を図る。

以上

テニスミュージアム委員会（委員長：小田 晶子）

事業区分：11
事業名：テニス史資料の収集・保存・活用、および展示・広報活動
事業内容：史資料所在情報を確認し、収集・保全に努めるとともに、調査・研究そして歴史展示を行い、web版テニスミュージアムを充実させた。また、将来の「JTA テニスミュージアム（仮称）」設立を目指して基金を運営し、中期5ヵ年計画を推進するとともに、有識者によるプロジェクト会議を開催して長期計画策定の準備を進めた。

1. 歴史的テニス資料の収集・保存、そして調査・公開

(1) テニス史資料の収集・整理とデータベース化

- ① JTA 地下倉庫、事務局収納棚、有明コロシアムなどに保管されている史資料の整理を継続した。
- ② トランクルームの年間契約を継続し、収集したラケットなど物品資料、フィルムなど画像資料、書籍など文献資料を保管した。
- ③ テニス専門誌バックナンバーの収集・整理を継続した。
- ④ JTA 年表、テニス関連文献資料などのデータベース化を継続した。
- ⑤ 故松本昭夫カメラマン遺贈資料、旧フタバヤラケット製作所旧蔵資料など、各方面から寄贈を受けた。

(2) テニス史の調査・研究と公開

- ① 「テニスファッション物語」をテーマに調査継続し、資料を作成した。

- ②有明クラブハウス内歴史展示コーナーに協力し、書庫を追加して展示を充実させた。
- ③WOWOW 番組「ウィンブルドンのサムライ（佐藤次郎物語）」製作に協力し、資料を提供した。
- ④その他、各メディアからの問い合わせに対して調査・回答し、番組・記事資料を提供した。

(3)テニス文化振興のための広報活動

テニス絵はがき、テニス史小冊子などの販売・配布を継続した。

2. ジャパンオープンなどで歴史展示開催および各方面との協力

- (1)ジャパンオープン 2011 大会期間中、有明コロシアム東ロビーで、企画展「テニスファッション物語」、「高校テニスの 100 年の歩み」、および「ジャパンオープン 40 周年」記念展示を開催するとともに、デ杯・フェド杯・ユニバーシアード・ワールドジュニアなど選手の活躍を紹介した。
- (2)併せて、メーカー各社の協力を得て、名品ラケットを展示した。
- (3)ジャパンオープン 2011 大会プログラムに「テニスファッション物語」を掲載した。

3. JTA 公式ホームページ内 web 版テニスミュージアムの更新

- (1)「web 版テニスミュージアム」サイトに「テニスはじめて物語」を追加することとした。
- (2)その他の内容を更新し、国内外へのテニス史情報発信を継続した。

4. 「JTA テニスミュージアム（仮称）」設立に向けた基金の運営と将来計画

- (1)「宮城黎子記念・JTA テニスミュージアム基金」第 3 年度の募金活動を継続した。
- (2)ニューズレター《テニス・ミュージアム》第 2 号を発行し、会計報告および活動報告、広報を行った。
- (3)中期 5 ヶ年計画を順次実行した。
- (4)プロジェクト会議を開催し、有識者の意見を集約した長期計画策定の準備をした。

以上

強化本部（本部長：坂井 利郎）

ナショナルチーム（ゼネラルマネージャー：村上 武資）

事業区分：5

事業名：ナショナル代表チーム(Team Japan)の遠征

事業内容：1.JOC 関連

- (1)オリンピック（今年度は開催なし）
- (2)アジア大会（今年度は開催なし）
- (3)東アジア大会（今年度開催なし）
- (4)ユニバーシアード（今年度開催：於 中国）
 - ・ユニバーシアード競技大会（2011/深圳）テニス競技（8月14日～21日）
チームリーダー：右近 憲三 男子監督：宮地 弘太郎
女子監督：細木 祐子 コーチ：三好 勲 トレーナー：石野 千枝
総務：仲田 奨司（全日本学連）
選手：仁木 拓人/伊藤 潤/片山 翔/遠藤 豪/
青山 修子/桑田 寛子/高畑 寿弥/石津 幸恵
結果：仁木...シングルス 3R、混合ダブルス銅メダル（w/青山）
伊藤...シングルス 2R、ダブルス 2R（w/片山）
片山...シングルスコンソレ優勝、ダブルス 2R（w/伊藤）
遠藤...シングルスコンソレ準優勝
青山...ダブルス金メダル（w/高畑）、混合ダブルス銅メダル（w/仁木）、
女子団体銀メダル
桑田...シングルスベスト 8、女子団体銀メダル
高畑...ダブルス金メダル（w/青山）、女子団体銀メダル
石津...シングルス 3R、女子団体銀メダル
- (5)ユースオリンピック（今年度開催はなし）

2.デ杯関連（A代表）

(1)デ杯 AO グループ I 2R

- ・デビスカップ・ウズベキスタン戦（7月8日～10日、ブルボンビーンズドーム）
監督：竹内 映二 コーチ：増田 健太郎
マネージャー：田島 孝彦 情報戦略：池田 亮
ストリンガー：富岡 信人 ドクター：奥平 修三
トレーナー：中尾 公一
選手：錦織 圭/伊藤 竜馬/添田 豪/近藤 大生
結果：4-1で勝利、ワールドグループプレーオフに進出

(2)デ杯 ワールドグループ プレーオフ

- ・デビスカップ・インド戦（9月16日～18日、有明コロシアム）
監督：竹内 映二 コーチ：増田 健太郎
マネージャー：田島 孝彦 情報戦略：池田 亮
ストリンガー：富岡 信人 ドクター：奥平 修三
トレーナー：中尾 公一
選手：錦織 圭/添田 豪/伊藤 竜馬/杉田 祐一
結果：4-1で勝利、27年ぶりとなるワールドグループ復帰が決定

(3)2012 デ杯、1R

- ・デビスカップ・クロアチア戦（2月10日～12日、ブルボンビーンズドーム）
監督：竹内 映二 コーチ：増田 健太郎/高田 充
マネージャー：田島 孝彦 情報戦略：池田 亮
ストリンガー：富岡 信人 ドクター：奥平 修三
トレーナー：中尾 公一

選手：錦織 圭／添田 豪／伊藤 竜馬／杉田 祐一

結果：2勝3敗で敗戦、9月に行なわれるワールドグループ入れ替え戦へ

3. フェド杯関連 (A代表)

(1) フェド杯 ワールドグループIIプレーオフ

・フェドカップ・アルゼンチン戦 (7月16日～17日、ブルボンビーンズドーム)

監督：村上 武資 コーチ：谷澤 英彦／原田 夏希

マネージャー：田島 孝彦 情報戦略：池田 亮

ストリンガー：富岡 信人 ドクター：三谷 玄弥

トレーナー：村木 良博

選手：森田 あゆみ／土居 美咲／奈良 くるみ／藤原 里華

結果：5-0で勝利、ワールドグループII復帰が決定

(2) 2012 フェド杯 1R

・フェドカップ・スロベニア戦 (2月4日・5日、ブルボンビーンズドーム)

監督：村上 武資 コーチ：谷澤 英彦／原田 夏希

マネージャー：田島 孝彦 情報戦略：池田 亮

ストリンガー：富岡 信人 ドクター：三谷 玄弥

トレーナー：田邊 雅子

選手：森田 あゆみ／クルム伊達 公子／奈良 くるみ／藤原 里華

結果：5勝0敗で勝利、4月ワールドグループ入れ替え戦進出が決定

4. U18 関連

(1) ジュニアグランドスラム

・男子全仏オープンジュニア遠征 (4月28日～6月4日)

コーチ：岩本 功 選手：内田 海智／河内 一真

結果：19th International Junior TournameNTCitTA' Di Prato (5/3～8、イタリア G2)

内田...シングルス優勝、ダブルス 1R (w/河内)

河内...シングルス 3R、ダブルス 1R (w/内田)

33Rd Torneo Internazionale "CitTA' Di SanTA Croce" Mauro Sabatini (5/9～15、イタリア G1)

内田...シングルス 2R、ダブルスベスト 4 (w/Nunez(MEX))

河内...シングルス 1R、ダブルス 2R (w/Hossam(EGY))

52nd Trofeo Bonfiglio (5/16～22、イタリア GA)

内田...シングルス 1R、ダブルスベスト 4 (w/Nunez(MEX))

河内...シングルス予選 3R

Roland Garros Junior Championships (5/29～6/5、フランス GA)

内田...シングルス 2R、ダブルス 1R (w/Nunez(MEX))

・女子全仏オープンジュニア遠征 (5月13日～6月6日)

コーチ：谷澤 英彦 選手：小和瀬 望帆／加藤 未唯／二宮 真琴／
穂積 絵莉／尾崎 里紗

結果：52nd Trofeo Bonfiglio (5/16～22、イタリア GA)

小和瀬...シングルス 1R、ダブルス準優勝 (w/加藤)

加藤...シングルス 1R、ダブルス準優勝 (w/小和瀬)

二宮...シングルス 2R

穂積...シングルス 1R、ダブルスベスト 8 (w/尾崎)

尾崎...シングルス 2R、ダブルスベスト 8 (w/穂積)

47th Astrid Bowl Charleroi Belgian International Junior Championships (5/23～28、ベルギー G1)

小和瀬...シングルス 2R、ダブルスベスト 8 (w/加藤)

加藤...シングルス 2R、ダブルスベスト 8 (w/小和瀬)

二宮...シングルス 1R

穂積...シングルス 2R

尾崎...シングルス 1R

- Roland Garros Junior Championships (5/29~6/5、フランス GA)
 小和瀬...シングルス 1R、ダブルス 1R (w/加藤)
 加藤...シングルス 2R、ダブルス 1R (w/小和瀬)
 二宮...シングルス 1R、ダブルスベスト 4 (w/尾崎)
 穂積...ダブルス 1R (w/Sharipova(UZB))
 尾崎...シングルス 1R、ダブルスベスト 4 (w/二宮)
- ・ウィンブルドンジュニア遠征 (6月14日~7月4日)
 コーチ: 駒田 政史 選手: 内田 海智/小和瀬 望帆/加藤 未唯
 二宮 真琴/尾崎 里紗/穂積 絵莉
 結果: AEGON Junior International - Roehampton (6/19~24、イギリス G1)
 内田...シングルス 1R、ダブルス 2R (w/Nunez(MEX))
 小和瀬...シングルス 2R、ダブルスベスト 8 (w/澤柳璃子)
 加藤...シングルス 1R、ダブルス 2R (w/穂積)
 二宮...シングルス 1R、ダブルス 2R (w/尾崎)
 尾崎...シングルス 2R、ダブルス 2R (w/二宮)
 穂積...シングルス 1R、ダブルス 2R (w/加藤)
- The Junior Championships, Wimbledon (6/26~7/3、イギリス GA)
 内田...シングルスベスト 4、ダブルス 1R (w/Novikov(USA))
 小和瀬...シングルス 1R、ダブルスベスト 8 (w/Barty(AUS))
 加藤...シングルス 1R、ダブルス 1R (w/穂積)
 二宮...シングルス 1R、ダブルス 2R (w/尾崎)
 尾崎...シングルス 3R、ダブルス 2R (w/二宮)
 穂積...シングルス 1R、ダブルス 1R (w/加藤)
- ・全米オープンジュニア遠征 (8月25日~9月25日)
 コーチ: 岩本 功 選手: 内田 海智/西岡 良仁
 結果: Canadian Open Junior Championships (カナダ G1、8/28~9/3)
 内田...シングルス 1R、ダブルス 2R (w/Kim(KOR))
 西岡...シングルス 2R、ダブルス 1R (w/Ram-Harel(ISR))
 US Open Junior TENNIS Championship (米国 GA、9/4~11)
 内田...シングルス 2R、ダブルス 2R (w/Nunez(MEX))
 西岡...シングルス 2R、ダブルス 1R (w/Kim(KOR))
 IMG アカデミー (米国) にてキャンプ (9/11~)
- ・男子全豪オープンジュニア遠征 (1月10日~29日)
 コーチ: 岩本 功 選手: 内田 海智/大西 賢/河内 一真/斉藤 貴史
 結果: Loy Yang Traralgon International (豪州 G1、1/15~20)
 内田...シングルス 2回戦、ダブルス 1回戦 (w/Ho(TPE))
 大西...シングルス予選 3回戦、ダブルス 1回戦 (w/Ismailov(UZB))
 河内...シングルス 1回戦 (予選上がり)、ダブルス 2回戦 (w/斉藤)
 斉藤...シングルス 1回戦 (予選上がり)、ダブルス 2回戦 (w/河内)
 Australian Open Junior Championships (豪州 GA、1/22~28)
 内田...シングルス 2回戦、ダブルス 1回戦 (w/Ho(TPE))
 大西...シングルス予選 3回戦、ダブルス 1回戦 (w/Ismailov(UZB))
 河内...シングルス 1回戦 (予選勝ち上がり)
 ダブルス 2回戦 (w/斉藤)
 斉藤...シングルス 1回戦 (予選勝ち上がり)
 ダブルス 2回戦 (w/河内)
- ・女子全豪オープンジュニア遠征 (1月11日~29日)
 コーチ: 駒田 政史/谷澤 英彦
 選手: 加藤 未唯/二宮 真琴/尾崎 里紗/小和瀬 望帆/足立 真美/
 澤柳 璃子
 結果: Loy Yang Traralgon International (豪州 G1、1/15~20)

加藤...シングルス 1 回戦、ダブルス 2 回戦 (w/尾崎)
二宮...シングルス 1 回戦、ダブルス 1 回戦 (w/澤柳)
尾崎...シングルスベスト 8、ダブルス 2 回戦 (w/加藤)
小和瀬...シングルス 1 回戦、ダブルス 1 回戦 (w/足立)
足立...シングルス予選 3 回戦、ダブルス 1 回戦 (w/小和瀬)
澤柳...シングルス 1 回戦、ダブルス 1 回戦 (w/二宮)

Australian Open Junior Championships (豪州 GA、1/22~28)

加藤...シングルス 1 回戦、ダブルス 2 回戦 (w/尾崎)
二宮...シングルス 1 回戦、ダブルス 1 回戦 (w/澤柳)
尾崎...シングルスベスト 8、ダブルス 2 回戦 (w/加藤)
小和瀬...シングルス 1 回戦、ダブルス 1 回戦 (w/足立)
足立...シングルス予選 3 回戦、ダブルス 1 回戦 (w/小和瀬)
澤柳...シングルス 1 回戦、ダブルス 1 回戦 (w/二宮)

(2)アジア春季遠征

・U18 女子アジア遠征 (3月1日~26日)

コーチ: 駒田 政史

選手: 奥野 彩加/足立 真美

結果: **Chang - Thailand Junior Championships (タイ G1、3/5~10)**

奥野...シングルス 3R、ダブルスベスト 8 (w/日比野菜緒)

足立...シングルス 3R、ダブルス準優勝 (w/山本ひかり)

19th Sarawak Chief Minister's Cup (I) (マレーシア G1、3/13~18)

奥野...シングルス 2R、ダブルスベスト 4 (w/日比野菜緒)

足立...シングルス 2R、ダブルスベスト 8 (w/山本ひかり)

23Rd Mitsubishi-Lancer International Junior (フィリピン G1、3/20~25)

奥野...シングルス 3R、ダブルスベスト 4 (w/日比野菜緒)

足立...シングルス 3R、ダブルス優勝 (w/山本ひかり)

(3)アジア秋季遠征

・U18 韓国遠征 (10月11日~11月6日)

コーチ: 岩本 功 選手: 内田 海智/河内 一真/斉藤 貴史/沼尻 啓介

結果: **2011 Seogwipo Asian/Oceania Closed International Junior TENNIS Championships (韓国 GB1、11/1~6)**

内田...シングルスベスト 4、ダブルスベスト 4 (w/河内)

河内...シングルス 3R、ダブルスベスト 4 (w/内田)

斉藤...シングルス 1R、ダブルス 2R (w/沼尻)

沼尻...シングルス 1R、ダブルス 2R (w/斉藤)

(4)アジアジュニア選手権 B1 遠征 ※実施無し

5.U16 関連

(1)Jr デ杯アジア予選

・ジュニアデビスカップ・アジア/オセアニア予選遠征 (4月13日~25日)

監督: 岩本 功 選手: 西岡 良仁/斉藤 貴史/沼尻 啓介

結果: 16 か国中 2 位で決勝大会進出が決定

(2)Jr フェド杯アジア予選

・ジュニアフェドカップ・アジア/オセアニア予選遠征

(4月22日~5月3日【事前合宿: 4月19~21日】)

監督: 駒田 政史 選手: 小和瀬 望帆/足立 真美/奥野 彩加

結果: 16 か国中 2 位で決勝大会進出が決定

(3)Jr デ杯・フェド杯世界大会 (アジア予選に勝った場合)

・ジュニアデビスカップ&ジュニアフェドカップ決勝大会遠征

(9月21日~10月4日)

男子監督: 岩本 功 男子選手: 西岡 良仁/斉藤 貴史/沼尻 啓介

女子監督: 駒田 政史 女子選手: 奥野 彩加/足立 真美/山本 ひかり

結果：男子...16 か国中 6 位

女子...16 か国中 12 位

(4)トヨタ Jr 遠征 ※トヨタ Jr 中止のため実施無し

(5)南米遠征

・U18 南米遠征 (NISSHINBO 南米ジュニアサーキット派遣) (2月8日～3月27日)

コーチ：岩本 功/中山 芳徳

選手：内田 海智/西岡 良仁/大西 賢/中川 直樹

結果：Copa Milo (チリ G2、2/13～18)

大西...シングルス 3R、ダブルス 1R (w/山崎純平)

Argentina Cup (アルゼンチン G2、2/20～25)

大西...シングルス 2R、ダブルス 2R (w/山崎)

Uruguay Bowl (ウルグアイ G2、2/27～3/3)

内田...シングルス優勝、ダブルスベスト 8 (w/Bambridge 【GBR】)

大西...シングルス 1R、ダブルス 1R

中川...シングルス 2R、ダブルス 1R

32nd Asuncion Bowl (パラグアイ G1、3/5～10)

内田...シングルスベスト 8、ダブルスベスト 8 (w/西岡)

西岡...シングルス 3R、ダブルスベスト 8 (w/内田)

大西...シングルス 1R、ダブルス 1R (w/Walendowsky 【BRA】)

中川...シングルス 1R、ダブルスベスト 4 (w/山崎純平)

42nd Banana Bowl (ブラジル G1、3/12～18)

内田...シングルス 2R、ダブルス 2R (w/Dojas 【BRA】)

西岡...シングルスベスト 8、ダブルス 2R (w/Liciardi 【ITA】)

大西...シングルス 1R、ダブルス 1R (w/山崎純平)

29th Copa Gerdau de Tennis (ブラジル GA、3/19～25)

内田...シングルスベスト 4、ダブルスベスト 8 (w/Licciardi 【ITA】)

西岡...シングルス 3R、ダブルス 1R (w/Guimaraes 【BRA】)

大西...シングルス 1R、ダブルス 2R (w/山崎純平)

(6)その他

・U16 オランダ遠征 (7月1日～19日)

コーチ：岩本 功 選手：河内 一真/斉藤 貴史/大西 賢/沼尻 啓介

結果：Leeuwenbergh ITF 4 Junior Championships (オランダ G4、7/4～10)

河内...シングルスベスト 8、ダブルスベスト 4 (w/大西)

斉藤...シングルスベスト 8、ダブルスベスト 4 (w/沼尻)

大西...シングルス 3R、ダブルスベスト 4 (w/河内)

沼尻...シングルス 2R、ダブルスベスト 4 (w/斉藤)

Flower Bulb Tournament (オランダ G4、7/12～17)

河内...シングルスベスト 4、ダブルス準優勝 (w/沼尻)

斉藤...シングルスベスト 8、ダブルスベスト 4 (w/大西)

大西...シングルス 2R、ダブルスベスト 4 (w/斉藤)

沼尻...シングルス 3R、ダブルス準優勝 (w/河内)

6.U14 関連

(1)ワールド Jr Boys アジア予選

・ワールドジュニア男子・アジア/オセアニア予選遠征 (4月28日～5月8日)

監督：櫻井 準人 選手：山崎 純平/高橋 悠介/山佐 輝

結果：16 か国中 2 位で決勝大会進出が決定

(2)ワールド Jr Girls アジア予選

・ワールドジュニア女子・アジア/オセアニア予選遠征 (5月5日～16日)

監督：中山 芳徳 選手：東 綾香/村松 千裕/伊藤 佑寧

結果：16 か国中 5 位でアジア/オセアニア予選敗退が決定

(3)ヤングスター遠征

(4)ワールド Jr 世界大会 (アジア予選に勝った場合)

- ・ U14 ヨーロッパ (ワールドジュニア決勝大会) 遠征 (6月29日～8月8日)

監督：櫻井 準人 選手：山崎 純平／高橋 悠介／加藤 彰馬

結果：BNP Paribas - STAd de Français - Paris

(フランス／ETA Category1、7/4～10)

山崎...シングルス準優勝、ダブルスベスト8 (w／高橋)

高橋...シングルス1R、ダブルスベスト8 (w／山崎)

加藤...シングルス2R、ダブルスベスト4 (w／Leshem【ISR】)

Windmill Cup (オランダ／ETA Category1、7/11～17)

山崎...シングルス優勝、ダブルス優勝 (w／高橋)

高橋...シングルス2R、ダブルス優勝 (w／山崎)

加藤...シングルス2R、ダブルス準優勝 (w／Leshem【ISR】)

Ligue des Hauts-de-Seine de TENNIS

(フランス／ETA Category2、7/19～24)

山崎...シングルス準優勝、ダブルス優勝 (w／高橋)

高橋...シングルス2R、ダブルス優勝 (w／山崎)

加藤...シングルス1R・コンソレ優勝、ダブルスベスト4

(w／Karimov(UZB))

イタリア・サンレモにてアクティブレスト (7/24～27)

World Junior TENNIS Final (チェコ、8/1～6)

結果：※16か国中準優勝、2003,06年と並んで最高位タイ

(5)ATF 遠征 (韓国・インドネシア)

- ・ U16 タイ遠征 (9月11日～22日)

コーチ：櫻井 準人 選手：大西 賢／松谷 俊希

結果：High Performance Evaluation Camp for Asian Male PLAYERSに参加

(タイ、9月11日～25日 ※途中帰国)

- ・ U14 タイ遠征 (2月18日～26日)

コーチ：櫻井 準人

選手：徳田 廉大／大島 立暉／正林 知大／住澤 大輔

結果：トレーニング合宿 (タイ、2/20～25)

- ・ U14 マレーシア遠征 (3月24日～4月2日)

コーチ：櫻井 準人

選手：徳田 廉大／正林 知大

結果：2nd Malacca ATF 14/U Series TENNIS Championship

正林...シングルス優勝、ダブルス優勝 (w／徳田)

徳田...シングルス準優勝、ダブルス優勝 (w／正林)

(6)その他

- ・ U12 カナダ遠征 (8月12日～23日)

コーチ：中山 芳徳 選手：住澤 大輔／田中 優之介／坂田 季美佳／

本玉 真唯

結果：La Coupe le Blanc (カナダ、8/15～21)

住澤...シングルス7～8位、ダブルスベスト8

田中...シングルス13位、ダブルスベスト8

坂田...シングルス4位、ダブルスベスト4

本玉...シングルス9位、ダブルスベスト4

※国別順位では3位、ワンポイントトーナメントでは田中が優勝、ス

ポーツマンシップ賞を坂田が受賞

※その他各種合宿、大会視察等を実施した。

【G-Project 関連】

- ・全仏オープン遠征（5月15日～26日）
スタッフ：村上 武資／原田 夏希
（サポート対象選手：森田 あゆみ／奈良 くるみ／土居 美咲）
結果：全仏オープン
森田...シングルス 2R、ダブルス 1R（w／チルスティア【ROU】）
奈良...シングルス予選 2R
土居...シングルス予選 2R
- ・ウィンブルドン遠征（6月12日～23日）
スタッフ：村上 武資／原田 夏希／田島 孝彦
（サポート対象選手：森田 あゆみ／奈良 くるみ／土居 美咲）
結果：ウィンブルドン
森田...シングルス 1R、ダブルス 3R（w／チルスティア【ROU】）
奈良...シングルス予選 2R
土居...シングルス 3R（予選勝ち上がり）
- ・北米遠征（7月22日～8月31日）
スタッフ：三栖 英揮／北村 珠美
（サポート対象選手：土居 美咲）
結果：ワシントン（米国、International）
土居...シングルス 1R、ダブルス 1R（w／Bouchard【CAN】）
バンクーバー（カナダ、ITF10万ドル）
土居...シングルス 1R
トロント（カナダ、Premier）
土居...シングルス予選 1R
シンシナティ（米国、Premier）
土居...シングルス予選 1R
ニューヘブレン（米国、International）
土居...シングルス予選 1R
全米オープン
土居...シングルス 1R
- ・国内強化合宿（12月11日～17日）
スタッフ：村上 武資／田島 孝彦／池田 亮／谷澤 英彦／原田 夏希／
佐藤 雅弘／三栖 英揮／吉川 真司／田邊 雅子
選手：土居 美咲／奈良 くるみ／青山 修子／尾崎 里紗／加藤 未唯
牟田口 恵美／足立 真美／大前 綾希子／澤柳 璃子／二宮 真琴
- ・全豪遠征（1月9日～21日）
スタッフ：村上 武資／原田 夏希／田邊 雅子
（サポート対象選手：森田 あゆみ／奈良 くるみ／土居 美咲）
結果：全豪オープン
森田...シングルス 1R、ダブルス 3R（w／藤原）
奈良...シングルス予選 3R
土居...シングルス予選 1R
- ・フェドカップ合宿&オセアニア遠征（2月3日～3月6日）
コーチ：谷澤 英彦／原田 夏希／佐藤 雅弘
選手：澤柳 璃子／二宮 真琴／加藤 未唯／尾崎 里紗
結果：フェドカップ・スロベニア戦合宿（ブルボンビーンズドーム、2/3～5）
Sydney Olympic Park TENNIS International（豪州 ITF2万5千ドル、2/13～19）
澤柳...シングルス予選 2R
二宮...シングルス予選 2R
加藤...シングルス予選 1R
尾崎...シングルスベスト 8（予選勝ち上がり）

Mildura Grand TENNIS International(豪州 ITF2 万 5 千ドル、2/20～26)

澤柳...シングルス予選 3R、ダブルスベスト 8 (w/二宮)

二宮...シングルス予選 2R、ダブルスベスト 8 (w/澤柳)

加藤...シングルス予選 2R

尾崎...シングルス予選 3R

Configure Express Pro(ニュージーランド ITF2 万 5 千ドル、2/27～3/4)

澤柳...シングルス 1R、ダブルス 1R (w/二宮)

二宮...シングルスベスト 8、ダブルス 1R (w/澤柳)

加藤...シングルス 2R、ダブルスベスト 8 (w/尾崎)

尾崎...シングルスベスト 8、ダブルスベスト 8 (w/加藤)

・タイ遠征 (3月17日～30日)

スタッフ：原田 夏希 (サポート対象選手：奈良 くるみ)

結果：プーケット1 (タイ、ITF2 万 5000 ドル)

奈良...シングルス 1R

プーケット2 (タイ、ITF2 万 5000 ドル)

奈良...シングルス 2R

・土居美咲個人トレーニング (随時)

スタッフ：三栖 英揮/北村 珠美/林本 悠

以上

技術/サイエンス/タレント発掘委員会 (委員長：竹内 映二)

事業区分：5

事業名：トップジュニアテニス選手を対象としたスポーツ科学的サポートに関する調査研究 (toto 助成金対象事業)

事業内容：トップジュニア選手 (14 歳、16 歳、18 歳) および地域の選抜ジュニア選手を対象にコンディショニングチェックおよびフィジカルトレーニング指導を行ない、トレーニング環境などのアンケート調査も同時に行なった。

測定結果を基に、コンディショニングチェックの検証を行い、地域へ啓蒙を行なった。

・調査対象

第1回愛媛トレセンにおける測定、8月17日～8月18日、愛媛県松山市

兵庫トレセンにおける測定、9月18日～9月19日、兵庫県三木市

第1回島根トレセン測定、10月1日～2日、島根県松江市

中牟田杯ジュニアトーナメントにおける測定、11月3日～5日、福岡県福岡市

ナショナルジュニア合宿における測定、12月16日～18日、味の素 NTC

ナショナルジュニア合宿における測定、1月13日～15日、味の素 NTC

第2回島根トレセンにおける測定、1月14日～15日、島根県松江市

アフタージュニアプレーヤーの測定、2月18日～2月19日、東京都西多摩郡

第2回愛媛トレセンにおける測定、2月24日～2月25日、愛媛県松山市

・上記測定にまつわる打ち合わせおよび分析のための会議など

5月15日、味の素 NTC/6月25日、味の素 NTC/8月5日、味の素 NTC/9月6日、

大阪体育大学/3月23日、味の素 NTC

事業区分：5

事業名：ジュニアテニスのスポーツ医・科学情報の推進・啓発と障害予防のための調査研究 (toto 助成金対象事業)

事業内容：1、スポーツ医・科学情報の推進と啓発 (スポーツ医・科学セミナーの開催) を行なった。

・医科学セミナーおよびレクチャーの実施

- 5月8日 大阪府大阪市、関西テニス協会登録の指導者対象、資格による制限は無し、20名
- 6月12日、滋賀県米原市、滋賀県テニス協会登録の指導者等を対象、資格による制限は無し、18名
- 6月26日、味の素 NTC、テニス協会ナショナルチーム所属者および関係者、資格による制限は無し、11名
- 6月27日、大阪府大阪市、大阪府テニス協会登録の指導者対象、資格による制限は無し、18名
- 7月1日、兵庫県三木市、兵庫県テニス協会登録の指導者対象、資格による制限は無し、14名
- 7月10日～13日、兵庫県三木市、テニス協会ナショナルチーム所属者および関係者、資格による制限は無し、15名
- 7月16日～17日、兵庫県三木市、関西テニス協会登録の指導者対象、資格により制限は無し、15名
- 9月11日、兵庫県西宮市、兵庫県テニス協会関連の指導者対象、資格による制限は無し、10名
- 9月17日、東京都江東区、テニス協会ナショナルチーム所属者および関係者、資格による制限は無し、20名
- 9月19日、大阪府大阪市、大阪府高体連所属指導者、資格による制限は無し、40名
- 10月2日、大阪府大阪市、大阪府テニス協会関係の指導者対象、資格による制限は無し、25名
- 10月8日、青森県八戸市、東北テニス協会関係の指導者対象、資格による制限は無し、30名
- 10月23日、兵庫県三木市、兵庫県テニス協会関係の指導者対象、資格による制限は無し、18名
- 12月12日、兵庫県三木市、関西テニス協会関係の指導者対象、資格による制限は無し、20名
- 2月9日～12日、兵庫県三木市、日本テニス協会モデルケーストレセン事業関連の指導者対象、資格による制限は無し、14名
- ・ 上記各セミナーに関する打ち合わせ
 - 4月20日、大阪府大阪市/5月1日、大阪府大阪市/5月29日、東京都港区/6月11日、味の素 NTC/8月3日、大阪府大阪市
- 2、国内大会（全日本ジュニア、世界スーパージュニア、全日本、ATP、WTAなどの試合）を中心に、テニスでの傷害予防のための調査研究（傷害発生率）を行ない、報告書としてまとめた。
 - ・ 調査対象大会
 - 関西ジュニアテニス選手権、7月30日～8月3日、大阪府大阪市
 - 全日本ジュニアテニス選手権、8月14日～8月18日、大阪府大阪市
 - 楽天ジャパンオープン、10月10日～10月15日、東京都江東区
 - HP ジャパン女子オープン、10月13日～10月17日、大阪府大阪市
 - 大阪市長杯ワールドスーパージュニアテニス、10月24日～28日、大阪府大阪市
 - 全日本テニス選手権、11月14日～18日、東京都江東区
 - 調査内容に関する検討会議、11月6日、青森県青森市
 - 調査内容に関する報告・検討会議、3月24日、大阪府大阪市

事業区分：5

事業名：地域の指導者に対するスポーツ医科学情報の受発信とインフラ整備
(toto 助成金対象事業)

事業内容：スポーツ医・科学関連の情報を収集、整理、発信を行い、トレーニングセンターシステムを情報面からサポートを行なった。

- ・調査場所
 - 愛媛トレセンにおける調査、8月19日～20日
 - 兵庫トレセンにおける調査、9月19日
 - 島根トレセンにおける調査、10月1日～2日
 - 東北地域における調査、10月8日～9日
 - ジュニアトーナメントにおける調査、11月3日、4日
 - 愛媛トレセンでの調査、2月24日～25日
 - 事業実施に関わる打ち合わせ、5月15日、8月2日
 - 報告書記載内容に関する打ち合わせ、2月27日
 - 報告書の印刷、掲載内容の記事作成
- ・調査内容
 - ジュニアの育成環境にまつわる調査（特にトレセン運営地における調査に関してはブロックトレセン設立の経緯、経済的バックグラウンド、人材確保策等の調査）
- ・調査方法
 - 各トレセン、地域の責任者に対するヒアリング調査
- ・成果の活用
 - 調査結果を日本テニス協会における最も大きな指導者講習会である「JTA カンファレンス 2012」において講習内容の一部として発表、またホームページにおけるコンテンツとして記事化し、掲載

事業区分：5

事業名：ITF Worldwide Coaches Workshop への参加（スポーツ医・科学情報収集）

事業内容：本委員会としては参加せず。

事業区分：5

事業名：タレント育成のための JOC 強化拠点を利用したモデルケーストレセン構築事業（toto 助成金対象事業/JTA 強化本部モデル事業）

事業内容：モデル県の愛媛・島根・兵庫のジュニアを育成強化し、JOC 強化拠点のビーンズドームに集め定期的に強化した。競技者育成プログラムに基づいて行う優れた素質を有する競技者を発掘し、国内において定期的・継続的に育成強化。ナショナルと共同で行った。結果については、報告書としてまとめた。

- ・事業実施にまつわる打ち合わせ：5月3日（福岡県福岡市）
- ・3ブロック合同西日本トレセン事業：第1回7月8日～10日、第2回9月23日～25日、第3回10月29日～31日、3月2日～4日
- ・兵庫ブロックトレセン事業：第1回8月27日～28日、第2回10月15日～16日、第3回11月3日～6日（4日は除く）、第4回2月4日～5日、第5回2月11日～12日、第6回2月18日～19日
- ・愛媛ブロックトレセン事業：第1回5月28日～29日、第2回8月4日～7日、第3回8月12日～14日、第4回12月23日～25日、第5回1月14日～15日
- ・島根ブロックトレセン事業：第1回5月20日～21日、第2回8月15日～17日、第3回11月4日～6日、第4回2月4日～5日

以上

ジュニア委員会（委員長：井上 喜代志）

事業区分：1

事業名：中学校、高等学校指導者及び選手に対する支援事業（策定業務）

事業内容：前年度からの継続事業。中体連対策委員会と連携し、未加盟道県のジュニア委員会に加盟運動の情報を提供した。本年度一気に中体連加盟が進み（31/47 都道府県）北海道で加盟実現、関東、東海、中国も残り 1 県の加盟で地域中体連加盟が実現する状況

にある。

既に加盟している九州、四国、近畿、北海道に合わせて残り2地域の加盟（6/9）で日本中体連加盟が成就する。全国大会の団体戦参加資格を設定したことが大きな要因になったと分析できる。

事業区分：1

事業名：ナショナルテクニカルコーチブロック派遣ジュニア及び指導者講習会（調整業務）

事業内容：各都道府県での行政、地元テニス協会、地元高体連、中体連等と一体になったトレセン活動を支援。実施を希望する都府県テニス協会との調整作業を担当。

- 1.都道府県テニス協会の要請により実施、人選を含む派遣業務はナショナルチームが行う。
- 2.トップコーチの派遣費は都道府県 TA が負担。派遣コーチの経費負担額は「JTA コーチ規程」による。
- 3.指導者講習会の併催を要請、すべてのブロックで実施された。

地域	場所	期間	対象	人数	テクニカル	S&C
北海道	帯広	12/24・25	U12～U17 男女	39	神谷勝則	横山正吾
北海道	和寒	3/17・18	U12～U18 男女	20	小浦武志	北村珠美
東北	岩手	2/11・12	小、中学生男女	77	吉田将彦	金子和宏
北信越	新潟	3/3・4	小、中学生男女	12	櫻井準人	植木五行
東海	静岡	11/19・20	U13 男女	24	本多好郎	中村寛孝
東海	岐阜	7/23・24	小、中学生男女	24	右近憲三	横山正吾
中国	山口	12/10・11	中・高生 男女各 8名	32	村上 功	山本修嗣
中国	島根	1/8・9	U12,U13 男女	16	神谷勝則	中村幸貴

事業区分：1

事業名：JTA ホームページを利用した広報事業

事業内容：地域の活動、都道府県の活動報告などを掲載することで、JTA と地域、都府県との相互連携及び指導者への情報公開を図る。

- 1.各種 JTA コーチ派遣事業の報告書の掲載
- 2.地域ステージ、都府県ステージでの TC 活動の報告掲載
- 3.暫定ジュニアランキングの掲載は精度の問題と問い合わせ等の処置で問題があり検討中。

事業区分：5

事業名：ナショナルメソッド地域伝達講習会（統括業務）

事業内容：ナショナルチームの高度な情報を伝達し、一貫指導理念の下での日本全体の指導育成力を向上させる。また今年度は JPIN 構想の実現に向けての事前調整として、地域内のそれぞれのジュニア委員長、理事長等との合同ジュニア委員会を9地域で開催した。講習のテーマは“トップ選手を目指すには”として、①選手としての心構え（スポーツマンシップ、良い習慣をつける）②トップ選手になるために必要な技術③今後必要な身体の強化の3点について講習された。またアンチ・ドーピングなどについてのレクチャーも行われた。

地域	場所	期間	対象	テクニカル	S & C
北海道	夕張市	2/10～12	U12 24名	櫻井準人	横山正吾

東北	紫波町	9/23～25	U12 12名	櫻井準人	森 智史
北信越	能美市	12/9～11	U12 12名	櫻井準人	横山正吾
関東	白子町	1/7～9	U12 32名	櫻井準人	北村珠美
東海	浜松市	12/16～17	U12 16名	駒田政史	中村寛孝
関西	三木市	11/19・20	U12 36名	駒田政史	横山正吾
中国	尾道市	9/17～19	U12 16名	駒田政史	山本修嗣
四国	高知市	1/7～9	U12 16名	駒田政史	横山正吾
九州	福岡市	9/9～11	U12 16名	駒田政史	北村珠美

事業区分：6

事業名：ナショナルジュニアランキングシステムの策定準備(協議決定業務)

事業内容：ナショナルジュニアランキングシステムの策定を目指す。

1. 9 地域巡回合同ジュニア委員会の開催

JPIN システムを利用してランキングをシステム化することについて、都道府県ジュニア委員会との事前調整を行いおおむね合意形成に至った。

2. 対象大会規程（運営規則、グレード、ポイント等）の策定は次年度に先延ばしとなった。

3. 実態調査

登録制度、ランキング制度の有無を含めて、ジュニアテニス人口調査を実施

18 歳以下、11 歳以上の都道府県テニス協会登録者数は約 69,000 人（登録制度がない県では推定登録人口）

事業区分：6

事業名：ジュニア大会機構の環境整備(協議決定業務)

事業内容：以下の件について協議決定した。

1. 国内開催の ITF、ATF ジュニア大会の位置づけと改善策について（継続審議）

2. ジュニアナショナル選手に関する協議事項の決定

3. JTA 主催大会及び国内各ジュニア大会の管理運用に関する協議事項の決定

・ジュニア大会規程に関わる事項の決定（シード基準の見直し）

・大会会場でのマナーアップ作戦の浸透：ごみ 0 運動の推奨実施

・地域、都府県から要請があった協議事項の決定

事業区分：6

事業名：JOC、JTA 共同プロジェクト「タレント発掘・競技者育成プログラム」推進事業

事業内容：技術・サイエンス・タレント発掘委員会事業に協力した。

事業区分：1 1

事業名：会議の開催

事業内容：本委員会の職掌事項を審議、決定するための委員会を開催する。

1.全国会議は、4月、3月の年2回開催した

2.常任委員会は、6月、4月（3月の延期分）の年2回開催した。

事業区分：1

事業名：ブロックステージでの発掘、育成フィールド構築（推進事業）

事業内容：10歳以下の大会については、2012年1月以降 ITF ルール（tennis10s）を順守するよう通知した。このルールの主旨は、PLAY+STAY 理念による低年齢ジュニアの発掘育成事業を都道府県テニス協会が主導し展開することで、発育発達に応じた一貫指導体制の手始めとし活用し、かつこのことで、日本のテニス人口を増大させる狙いがあるとして、この理念を活かした自主的な事業展開を依頼した。

以上

学生強化委員会（委員長：堀内 昌一）

事業区分：5

事業名：大学生テニス大会を取り巻く環境の改善

事業内容：学生大会及び大会スケジュールの見直し。大会の配置や選抜方法について、国内外の広い視野から見直しを行う。大会を整備し、国際大会及び全日本テニス選手権等での活躍を目的として、高校及びジュニア期からの一貫性のある強化環境を作る。

事業報告事項

- 全日本学生テニス大会の予選会開催と地域割当数の是正
- 全日本学生テニス選手権の本戦 WC の設定
(ユニバーシアード選手の地域大会免除)

全日本学生テニス連盟、地域学生テニス連盟及び全日本大学部長監督会の懸案事項として「全日本学生テニス選手権の見直し」を各連盟と協議し予選を開催することとした。これはより多くの学生が夏季時期まで競技を継続し、さらに地域格差を是正することを目的とした。

また、ユニバーシアード開催時における強化の一貫としてユニバーシアード選手の地域学生大会の免除をし、全日本学生テニス大会本戦 WC での出場可能の制度を確立した。

事業区分：5

事業名：高校3年生との合同練習会

事業内容：高体連と連携をし、一貫性ある競技力向上をはかる。

平成24年2月18日(土)20日(月) 亜細亜大学テニスコート

参加者 全日本学生テニス連盟所属1部2部大学男女1年から3年を対象。

事業区分：5

事業名：実業団チームとの合同練習会

事業内容：実業団委員会と連携をし、強化と就職活動も含め相互理解をし、一貫性ある競技力向上をはかる。

平成24年1月28日(土)29日(日) 亜細亜大学テニスコート

参加者 実業団 JR北海道 伊予銀行

大学 全日本学生テニス連盟所属1部2部大学男女1年から3年を対象。

- ・実業団と学生の交流を図るため実業団上位チームと1・2年生を中心とする 関東地区学生有望選手の合同練習をおこなった。

以上

ワンコイン制度推進委員会（委員長：橋本 有史）

事業区分：11

事業名：ワンコイン制度の定着と発展

事業内容：ワンコイン制度の確実な運用を図るとともに、より広い大会への適用を行うことによって収入の増加を図り NTC 活動の充実および都府県トレーニングセンターの構築に寄与することを目的に活動を行った。

1. ワンコイン制度の実施と確実な運営

ワンコイン制度も4年目に入り、その運営は定着してきたと考えられる。ワンコ

イン収入は 22 年度 1634 万 6200 円（報告書作成時点の数字、最終的に 22 年度は 1660 万 600 円）に対し、23 年度は現時点において 1631 万 7100 円でありほぼ横ばいの数字となっている。委員会経費を除いた収支でも 22 年度 1576 万に対し 23 年度は 1578 万円であり微増の結果となっている。また現時点では公認大会の報告の未着があり最終的な収入は増加するものと考えられる。なお、決算数字は締日の関係から上記数字とは一致しない。

2. ワンコイン制度への信頼の醸成

ワンコイン制度の確実な運用は信頼への第一歩であるが、加えて積極的な「情報公開」や PR によって、地域、都府県協会、大会主催者や参加者への信頼を得る必要がある。そのため委員会ではワンコイン制度の運営状況とそれらの資金が活用される NTC の活動を「ワンコイン/NTC 報告書」としてまとめ、全地域協会、都府県協会にメールにて配信するとともに JTA のホームページからもダウンロード出来る形にした。

3. 大会への適用の拡大の推進/他委員会との連携

これらについて本年度十分な活動が出来なかった。次年度以降に再度取り組みたい。

以上

クラブ JTA 委員会（委員長：青木 弐）

事業区分：11

事業名：クラブ JTA のファンクラブ的運営の実行。

事業内容：ジュニア育成強化資金の募金制度であるクラブ JTA の位置づけを保ち、同時に会員へより多くの特典を享受することが出来るように活動した。但し会員特典等で現会員の不利益や不信を招かないように十分配慮を行った。

ファンクラブ的な運営企画として下記などを実施した。

- ① 2011 年 12 月 10 日(土)、ジュニアの活動を支援して下さるクラブ JTA 会員へ、ジュニア合宿の視察を兼ねて、味の素ナショナルトレーニングセンターを見学後、右近憲三強化本部副本部長、谷澤英彦コーチ、内田海智ジュニア選手によるテニスレッスンを実施。会員 36 名が全国から参加。
- ② 2011 年東レ PPO テニス入場券の先行購入の機会を会員へ確保。
- ③ 2011 年楽天ジャパンオープンの観戦の機会を会員へ確保。会員の来場者は 10 月 2 日（月）から 9 日（日）までの 7 日間で延べ 343 名となった。
- ④ 日本で開催された デビスカップ（2011 年 7 月、9 月、2012 年 2 月）、フェドカップ（2011 年 7 月、2012 年 2 月）への会員皆様の観戦確保。

事業区分：5

事業名：ジュニア事業としてウインブルドンジュニア遠征支援。

事業内容：世界を意識したジュニア育成・強化活動を積極的に支援した結果、ウインブルドンジュニアでは内田海智選手がシングルス日本人初のベスト 4 へ進出という好成績を残してくれた。

事業区分：5

事業名：ジュニア事業としてナショナルジュニア強化合宿（U14 男子・女子）支援。

事業内容：味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）に於ける数次に亘るナショナルジュニア強化合宿活動支援事業を実施した。

事業区分：11

事業名：クラブ JTA 会員組織の拡大。

事業内容：クラブ JTA 会員組織を広げる‘草の根運動’を実施していたが、JTA の公益財団法人化への移行手続き最終局面で、会員組織であるクラブ JTA の存続が認められず、平成

24年4月1日からは「JTA ジュニアサポート寄付金制度」へ移行することとなった。
このため10月1日からは会員募集を停止した。
これまでクラブ JTA 会員としてジュニア選手の育成・強化にご支援頂いた皆様に改めて心から御礼申し上げます。誠に有難うございました。また、平成 24 年度からは「JTA ジュニアサポート寄付金制度」としてジュニア選手の育成・強化へ正式に移行しますので皆様のご支援をこれまで以上にお願い申し上げます。

以上

普及・指導本部（本部長：飯田 藍）

公認指導者養成委員会（委員長：松原 慶子）

事業区分：4

事業名：公認スポーツ指導者認定事業

事業内容：公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導員資格認定事業専門科目の検定会を日本テニス協会主催で開催した。

公認指導者資格認定（コーチ・上級コーチ・教師認定校）に関する検定会

下記の通り、公認資格認定に関する養成講習会及び検定会を実施した。

- ① コーチ：前期 東京 NTC 2011年12月1日～3日 参加者 44名
：後期 東京 NTC 2012年1月12日～14日 参加者（再検定者含む）44名
 - ② 上級コーチ：東京 NTC 2012年1月17日～21日 参加者 15名
 - ③ 教師（認定校）：東京 NTC 2012年2月6日～7日 参加者 46名
 - ④ 指導員（認定校）：各校へ検定員を派遣し検定会を実施。参加者 56名
- 尚、公認指導者資格「上級教師」検定会の開催を予定していたが、受講者数が少なく次年度に再度募集を募り開催する事とした。

事業区分：4

事業名：都道府県において、指導員・上級指導員認定事業に関しての協力

事業内容：各都道府県体育協会と都道府県テニス協会の連携で実施される指導員・上級指導員の事業に関し当委員会より運営および指導マニュアル内容の再検討後手配、講師および検定員の派遣を行った。

事業区分：4

事業名：S級およびマスターコーチ・教師または養成講習会の担当講師への研修会の開催

事業内容：各養成講習会における講師の人材バンク作りは、今後有資格者の貢献して頂く場となるよう考慮し進めております。しかし各養成講習会での内容の充実を図るため検討し進めているが確たる研修会とするには時間も必要とするため次年度も継続事業として取り組むこととした。

事業区分：4

事業名：日本体育協会発行 JTA 推薦マスターコーチ・マスター教師の任命

事業内容：現在のマスターコーチ・マスター教師の称号また活動状況等に関して今後整理の必要性が求められ引き続き検討していく事とした。

事業区分：4

事業名：地域・各団体のリフレッシュ講習会等の公認

事業内容：指導者を対象に開催される研修ポイント付与に関連する講習会の申請内容を確認し公認。

事業区分：4

事業名：S級エリートコーチ認定事業

事業内容：JTA 公認S級エリートコーチ養成および検定会を実施する計画であったが、現状の整理、ITF への講師派遣依頼や内容の充実を図るため検討の結果見送る事となった。

事業区分：4

事業名：「公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会」の開催

事業内容：日本体育協会補助事業で、有資格者を対象にJTAからの指導者養成に関わる伝達事項、一貫指導推進活動方針（強化指導指針Ⅲの内容を含む）を提示する目的で平成23年10月29日～30日（JISS）にて開催した。参加者は73名であった。

事業区分：4

事業名：第7回プロフェッショナル対象の教育研修会の実施

事業内容：2011年11月12日有明コロシアム会議室にて、プロフェッショナルとしての教育を目的とする研修会を開催した。

事業区分：4

事業名：ITF コーチーズカンファレンスへ委員派遣

事業内容：国際的なコーチーズカンファレンス参加により、ITF 本部との連携を図ることができた事は非常に大きい収穫である。また指導者に関する情報も収集でき、養成講習会内容の充実を図ることの必要性や教育プログラム内容の検討事項等課題がみえたことは大きい。

そして、日本の指導者資格と国際的なライセンスとの関係については非常に興味がある問題で継続事項として推進して行きたい。

事業区分：4

事業名：有資格指導者への情報提供

事業内容：都道府県レベルに至るまで、ネットワークを活用し情報提供や伝達事項について促して行こうとしたがまだまだ至っておらず今後も発信は続けて行きたい。

事業区分：1

事業名：ホームページの整備と充実を図る。

事業内容：普及指導本部活動報告などの情報提供を行った。また、有資格者への情報提供も考慮し一貫した指導理念が伝達できるよう努めた。

事業区分：1

事業名：養成講習会における講習内容の充実および講師の養成

事業内容：各養成講習会講義内容の充実については、常に検討し変更や新たな取り組みが必要であることから今後も教育プログラム部会を中心に推進して行くこととする。

事業区分：1

事業名：公認指導者を対象とした教本作成の制作

事業内容：現在ある指導教本を指導者資格別に整理する方向で、修正また加筆の必要性もあり制作を進めている。次年度も継続事業として進める。

事業区分：1

事業名：各養成講習会での検定会

事業内容：各養成講習会での検定員の養成、レベルの基準にITNを導入する。各検定での合否基準評価はまとまりつつあるので、開催する検定会での結果から再度検定員教育に役立たせて行けるよう進めたい。

その他の事項

1. 「JTA カンファレンス」への運営協力を行う。

2. 委員会開催

- ① 認定校専門学校の担当教員との連絡会議を行った。
- ② 常任委員会 3回
- ③ 検定部会では、検定会終了後合否会議を行った。

以上

普及推進委員会（委員長：中原 かおり）

事業区分：11

事業名：PLAY+STAY プログラムの普及推進

事業内容：指導者養成講習会ならびに体験イベントの展開。

<講習会>

愛媛県	10月16日（日）	派遣講師	藤本幸久委員
香川県	12月11日（日）	派遣講師	藤本幸久委員
群馬県	11月19日（日）	派遣講師	菅澤繁美 PLAY+STAY 部会員

<体験イベント>

9月23日（金） テニスの日 有明イベント キッズテニス
11月13日（日） 全日本選手権 PLAY+STAY テニスフェスタ キッズテニス・親子テニス

※ 10月9日（日） 楽天 JAPAN OPEN にてキッズテニスサポートスタッフ派遣（事業計画外事業）

事業区分：11

事業名：JTA カンファレンスの開催

事業内容：平成24年3月10日（土）・11日 味の素ナショナルトレーニングセンターにて開催

事業区分：11

事業名：全国都道府県の活動実態調査

事業内容：(1)7月24日「第11回ブラインドテニス茨城オープン」視察

於：つくば市（洞峰公園体育館）

(2)9月23日「テニスの日 車いすテニス講習会」

・参加者集め

・ボランティアスタッフ集め・・・アシスタントコーチ3名、運営1名

(3)11月25～27日「第21回 NEC 全日本選抜車いすテニス選手権大会」視察

於：柏市（吉田記念テニス研修センター）

その他、年間を通じて「ブラインドテニス大会及び講習会」開催県への協力依頼。

事業区分：11

事業名：テニスの日 イベント開催

事業内容：9月23日テニスの日有明イベント キッズテニスを PLAY+STAY プログラムにて実施

事業区分：11

事業名：ITN 査定

事業内容：全日本選手権、全国レディース会場にて ITN 査定を実施
全日本選手権は雨天のため中止

事業区分：11

事業内容：ホームページの有効活用

PLAY+STAY 専用 HP にて JTA 主催イベントの告知ならびに募集・講習会・登録メンバーによるイベント報告・講習会資料の公開
登録メンバー数 750 名（4 月末日現在）

事業区分：11

事業名：テニスの日共同イベント

事業内容：47 都道府県におけるテニスの日の共同イベントの推進。キッズテニスにて PLAY+STAY プログラムの実施を推奨。
有明イベントにおいてキッズテニスに PLAY+STAY プログラムを導入（上記）

PLAY+STAY イベント、講習会に関する報告はすべて PLAY+STAY 専用 HP に掲載

特記事項

楽天株式会社 CSR にて PLAY+STAY レッドボール 20,000 個が JTA に寄贈された。

楽天 JAPAN OPEN 委員会より普及推進委員会に対しボールの配布先決定が依頼された。

（1 箇所につき 200 個配布）

配布先 都道府県協会宛 51 箇所 女子連 20 箇所 PLAY+STAY メンバー（公募）20 箇所
東日本大震災復興支援東北分 6 箇所 JTA イベント用 3 箇所分

報告書 イベントまたは指導者講習会の実施後、報告書の提出を義務付け（実施日、内容の他、
写真を 1～2 枚添付したもの）

提出された報告書は都道府県協会・女子連・震災支援東北 6 県は JTA 公式 HP 普及推進
委員会 楽天キッズテニス支援プログラムに、PLAY+STAY メンバー分は同公式サイト
PLAY+STAY 専用 HP に掲載

株式会社ダンロップスポーツ様より PLAY+STAY 用ネット・ラケット・ラインチップを 1 セットとして PLAY+STAY プログラム普及のため上記配布先一箇所につき 1 セットの配布が行なわれた。

以上

中体連対策委員会（委員長：飯田 藍）

事業区分：1

事業名：日本中体連加盟に関する促進事業

事業内容：1. 全国中学生テニス選手権大会の実施

1) 団体戦の参加資格について

- ・平成 24 年度（関東開催）の全中団体戦の参加資格を、「加盟運動をしていること」という 2 年間の移行措置を外し「加盟又は準加盟」の都道府県代表のみとして、さらにハードルを高くすると決定。
 - ・移行措置を外すことは、結果として未加盟道県の参加を締め出すこととなりこのことに対して、（公財）日本中体連から取り成しの要請があった。これを受けて委員会で協議、中体連方式に完全移行する参加資格を取り下げることとし、この決定を日本中体連に通知した。
 - ・平成 24 年度は、23 年度と同じ、①加盟、又は準加盟の都道府県代表 ②未加盟の道県では、当該中体連に加盟運動を実施していると確認申請書を提出し、全国中体連で認定された道県代表とした。
 - ・24 年度は、青森県、秋田県以外の 4 5 都道府県が参加資格を取得し、団体戦の予選が実施される。
- 2) 中体連加盟後の全国大会のあり方について、団体戦のみならず個人戦も中体連大会として実施するかどうか検討の対象とした。

- 九州地域での全国大会予選の方法など、まだまだ全国的に統一した基準を確定できない状況にある。九州テニス協会に善処を依頼したが、全国大会のあり方にも関連する事項でもあり今後の解決課題とした。

2. (公財) 日本中学校体育連盟への加盟運動

1) 面談

- 平成 23 年 12 月 19 日、岸記念体育館 504 号室にて、日本中学校体育連盟からは、大江会長、塩田専務理事、菊山事務局長、松井事務局員、日本テニス協会からは、内山専務理事、飯田委員長、橋爪副委員長、斉藤事務局員が出席した。

2) 中体連との確認事項

- 上記の団体戦の参加資格についての取り成しのことや、9 地域中 6 地域中体連への加盟が条件であること、日本中体連への加盟申請は 24 年度が最終ではなく、毎年継続して受け付ける等確認した。また日本中体連でも、JTA との協力関係が大切であると認識されており、このような会合を今後も続けることを確約した。
- JTA の要望として、日本中体連から未加盟の県に対して、テニス競技の加盟を促進、解決するための、何らかの支援策をしていただけないものかご検討いただくよう依頼した。

3・加盟状況

1) 都府県中体連

- 団体戦の参加資格について、移行措置を取りやめ中体連方式にするとした方針決定が未加盟の道県に対して加盟促進の大きな推進力になり、その効果はあった。23 年度新たに準加盟（準加盟に準じる）した道県は、北海道、富山、千葉、神奈川県（準加盟に準ずる）、愛知、岐阜であり、地域中体連への加盟も大幅に前進した。

2) 地域中体連

- (公財) 日本中体連への加盟条件は 9 地域中 6 地域の加盟でクリアーする。
- 既加盟地域は近畿、四国、九州。残り 3 地域。
- 北海道は準加盟に準ずる扱いとしている。残り 2 地域の加盟で日本中体連への加盟条件 6 / 9 をクリアーする。
- 関東は 6 / 8 が条件、残り 1 県で条件をクリアー。東海は全県加盟が条件、中国は 3 / 5 が条件、広島、鳥取のいずれか 1 県でクリアー。

- 3) 前述 1 項の団体戦参加資格が暫定措置でハードルが低くなったことにより、加盟運動に悪影響を与えないよう、一層の加盟促進を図ることを確認した。

4) 加盟状況

2012/3/31 現在

		都 道 府 県 名					
加盟済	1 8	埼玉	東京	山梨	三重	滋賀	京都
		奈良	和歌山	大阪	兵庫	岡山	山口
		香川	高知	熊本	宮崎	鹿児島	沖縄
準加盟	1 1	山形	千葉	富山	愛知	岐阜	愛媛
		徳島	佐賀	長崎	大分	25 年度	北海道
未加盟	1 8	青森	秋田	岩手	宮城	福島	茨城
		栃木	群馬	神奈川県	長野	新潟	石川
		福井	静岡	鳥取	島根	広島	福岡

以上

スポーツ環境委員会（委員長：生沼 明人）

事業区分： 1

事業名： JOC スポーツ環境委員会および他の競技団体、テニス団体そして環境保全団体と連携し、テニス界を中心とした自然環境保全と整備を目的とした活動（3R 推進）

事業内容： 1. テニス界における環境保全の調査・啓蒙・実践活動

（1）各地域協会・都府県協会との連携・協働としてとの交流を深めるために環境だより」を発行し連携を深めた。

（2）「テニスの日」の共同イベントとして、各団体のご協力をいただき47都道府県でエコ活動の奨励「テニス DE エコろう」をスローガンに実施した。

（3）環境省やJOCとともに地球温暖化対策国民運動「チャレンジ25キャンペーン」に参加した。

（4）「環境レポート」をJTAカンファレンスで配布したほか、JTAホームページの環境情報のところからダウンロードできるようにした。

（5）大会スポンサーとの連携や協働として、「全日本ベテラン選手権大会」のタイトルスポンサーである帝人株式会社から繊維リサイクルについてのレクチャーを頂き、大会での連携を模索した。

2. テニス指導者、選手への環境意識の啓蒙活動

（1）JTA主催14大会をはじめ、JTAカンファレンス、修造チャレンジ、グラスホパー全国ジュニアテニスなどで環境バーナーの掲示をした。「心の環境にエースをねらせ」環境ポスター、エコフラッグの掲出により環境保全啓蒙活動を行った。NIKKKE全日本テニス選手権ならびにダンロップ全日本ジュニア supported by NISSHINBO では表彰式において表彰授与者、表彰選手、大会関係者にご協力を頂き、バーナーとの撮影を行った。

（2）特に大学生への啓蒙活動に重点を置いた。全日本学生選手権での部長監督会議や全日本学生テニス連盟の役員との話し合いやポスターの掲示、学連の皆さんとの協働で環境活動を行った。

（3）フューチャーズ大会におけるエコ活動の聞き取りを亜細亜大学、早稲田大学、山梨学院大学で行った。それぞれ数名の部員とミーティングを行い、日常における部活動での継続的なエコ活動について話し合いを行った。

3. JOC スポーツ環境部会の活動として「JOC スポーツ環境部会」（年4回）、「スポーツと環境地域セミナー」（神戸市）、「スポーツと環境担当者会議」（NTC）に担当者が参加し、情報の交換、共有、交流を深めた。特に日本水泳連盟へのIOCからの表彰、日本サッカー協会の先進的な取り組みを今後の活動に活用していく。特に、プロモーションビデオの作成と指導者への啓蒙は急務である。NPO グローバル・スポーツ・アライアンスとの協働でボールのリユースへの協力とエコフラッグの掲出を推進した。

4. テニスDEエコ「環境チェックシート」の改良を検討した。また、ジュニア委員会との共同発信協働で、全国大会の全ての予選大会の大会パンフレットのジュニア憲章掲載に加えて「子供たちのマナーアップ」につながる継続的なキャンペーンで「ごみゼロ運動」なるキャンペーンを実施した。

5. その他環境問題に関する調査・研究・情報収集および発信を行った。

以上

アンチ・ドーピング委員会（委員長：岩増 弘志）

事業区分：1 1

事業名：ドーピング検査の実施と協力

事業内容：1.以下のドーピング検査を JADA（日本アンチ・ドーピング機構）と協力して行った。

- ① 全日本テニス選手権大会において、11名(男6名・女5名)の検査を実施した。
 - ② 全日本ジュニアテニス選手権大会において、4名(男・女各2名)の検査を実施した。
 - ③ 全日本学生テニス選手権大会に於いて、5名(男5名)の検査を実施する。
 - ④ 日本リーグ（2nd ステージ・決勝）に於いて、18名(男・女9名)の検査を実施した。
2. ドーピング検査の具体的実施方法、人員配置等につき定期的に JADA 担当を会議をもち 検査の公正性の確保と問題点に対する対策を協議した。

事業区分：1 1

事業名：アンチ・ドーピングの啓蒙

事業内容：1.日本アンチ・ドーピング規程の受諾に伴い、その主な内容につき周知徹底を図る。

主要大会において JADA の啓蒙活動のブースを設け啓蒙活動を行った。(アウトリーチ)

2.上記の事業を推進し最新情報周知の徹底を図るため、全体会議を1回実施した。

以上

トーナメント本部（本部長：内山 勝）

ジャパンオープン委員会（委員長：内山 勝）

事業区分：3

事業名：2011 楽天ジャパンオープンの開催

事業内容：2011 楽天ジャパンオープンの開催

楽天オープンとして3年目となる今回は、過去の経験を活かし、各セクションにおいてIMGマーケティングと協力しながら、大会の質を上げると共に作業の効率化を図った。

今回は3月11日に起こった東日本大震災と、放射能汚染、電力不足等の影響により開催自体が危ぶまれたが、川廷トーナメントディレクターをはじめ当委員会委員の度重なる説得と多方面からの支援を受け、トップ10の内ナダル、マリー、フェレール、フィッシュの4名が出場。日本人選手はデビスカップチームの錦織、添田、伊藤、杉田の4名が本戦に出場し、大会は大いに盛り上がった。

また、大会はトップ4シード選手が準決勝に勝ち上がり、世界的にも注目度の高い試合が行われ、お客様にはお楽しみ頂けたことと確信する。

震災の影響が懸念されたが、世界トップ選手の出場、また期間中を通して天候にも恵まれ、78,789名のお客様にご来場頂いた。試合以外の部分でも大会観戦をお楽しみ頂けるよう、音楽ライブやファッションショーを行い、また表彰式では紙吹雪をバズーカで打上げる等、華やかな演出を取り入れた。今後も更にエンターテインメント性を高めていけるように様々な企画をしていきたい。

経費面では事業仕分けを徹底し、無駄な支出を抑えると共に新たな収入への投資を行い、増収につなげることに成功した。今後も引き続きチケットセールス・マーチャンダイズを展開し、更なる来場者サービスと選手サービスを向上させ、大会を発展させていきたい。

1. 試合進行

(ア)今年度は震災の影響で電力不足が懸念された為、女子部門の開催を見送った。

その為に試合数は半減し、センターコートを含む3面展開で順調にスケジュールを消化することができた。大会としてはトップ4シード選手全員がベスト4に残ったことで、ご来場頂いたお客様には非常にハイレベルな試合をお楽しみ頂けた。

2. 観客サービス

電力事情を考慮し、残念ながら女子大会を中止する運びとなったが、男子は2年連続のラファエル・ナダルをはじめ、今大会優勝のアンディ・マレー、ダビド・フェレールなどランキングトップ10の中から4選手が参加し、78,789名の観客数を記録した。

(ア) ATP Sunday に被災地から200名の子供たちを招待し、ロイヤルボックスから間近でトップ選手のプレーをお楽しみ頂いた。イベントの最後にはコート上で、全員で集合写真を撮影した。

(イ) 選手からサイングッズを提供して頂き、大会公式ホームページを通じてチャリティーオークションを開催した。

(ウ) コロシウムに入場する全ての入口前にTVモニターを設置し、エンドチェンジで入場できるようになるまでTVでプレーをご観戦頂けた。

(エ) ATPサンデーでは初の試みとして荻野目洋子さんのミニLiveを行った。今後も様々なエンターテインメント性を盛り込みながら、大会を発展させる。

(オ) ATPのGAME ONキャンペーンとタイアップし、今年度のテーマである「GAME ON JAPAN」を大々的に露出した。また、従来のATP TOKYOに加

え、GAME ON JAPAN のマーチャндаイズを展開し、ATP から高い評価を得た。今後も継続し、更に発展させる。

3. スポンサーサービス

- (ア) 従来オフィシャルホテルのボールルームで行っていたウエルカムレセプションを、会場を変更してエンターテイメント性の高い演出で行ったことが高評価であった。
- (イ) サブスポンサーについても概ね満足しているなどの高評価を得られた。引き続き綿密なコミュニケーションを図ると共により良いスポンサーシップの関係を構築するよう努める。
- (ウ) 各スポンサーの冠が付いたサイン会の実施やイベントを数多く実施し、露出拡充に努めた。質とともに幅を広げ、今後も継続発展させる。

4. テレビ放送

- (ア) WOWOW の新チャンネル立ち上げによりセンターコートシングルス全試合がLIVE中継され、放映時間が倍増した。(2010年：38時間⇒2011年：65時間)
- (イ) トップ4シード選手が順当に勝ち上がり好カードとなったため、海外での放送・報道も大幅に増加した。(2010年：809時間⇒2011年：1373時間)
- (ウ) WOWOW と協力して、ジャパンオープンのプロモーションビデオを制作した。国内では評議員会・常務理事会等、海外ではATPの会議において放映し、楽天オープン2011の報告をするとともに今後のスポンサーセールスに活用する。

5. 選手サービス

- (ア) 羽田空港の国際ターミナル新設の影響で、成田・羽田の2つの空港での出迎えとなったが、問題なくミーティングを行えた。空港とホテル間の送迎は全て個別車両(バン)で行い、ホテル・会場間においても個別対応ができたため、ATPおよび選手から大変好評を得られた。
- (イ) ATPのみの開催となった為、女子ロッカールームを活用し、選手にゆったりとした空間を提供できた。
- (ウ) 全コートの再塗装を行った為、全コートのスピードが遅くなり、またコート間のスピードの差が無くなったとATPから高評価を得られた。
- (エ) 選手へのサービスについて、今後大会の更なる向上のためにも、種々改善が必要である。会場・ラウンジの装飾、IDの発行、管理の方法について、選手から不満が出ないようにしたい。

総括

来年度も財政的に困難な状況であるが、JTA最大の収支事業であることを理解し、選手、スポンサー、観客のニーズを十分に配慮した運営スキームを構築してプロモーション活動を図ります。更に、2014年までにATPトーナメントオブザイヤーの受賞を目指し、ATP500レベルとして世界一の大会に向上させたいと考えます。

以上

トーナメント委員会 (委員長：中西 伊知郎)

事業区分：2

事業名：国内大会の開催ならびに支援、JTA公式トーナメントの開催ならびに支援、2012年テニスカレンダーの日程調整、JTAランキングシステムの拡充と検証、選手登録の拡充と管理

事業内容：(1) 国内大会の開催ならびに支援

- ◆ニッケ全日本テニス選手権大会 2011 (11月5日～13日)
- ◆島津全日本室内テニス選手権大会 (3月5日～11日)
- (2) 国内大会主催者への助言と支援
- ◆トーナメント報告書の更新
- (3) 2012年テニスカレンダーの日程調整
- ◆事務局内にて大会主催者と調整
- (4) 年間JTA ランキングの作成および発表
- ◆2012年2月に発表
- (5) 選手登録者数の拡充と管理
- ◆2011年度登録者数は男子3,909名、女子2,045名
- ◆JTA新登録システム(JPIN)の検討および2012年度予算計上
- (6) 新設国内大会の調査、検討、承認
- ◆新設大会17大会の公認
- (7) 他委員会との連携を密にしより良い計画、運営を図る
- ◆2014年度開催のニッケ全日本テニス選手権大会の改革案作成

事業区分：3

事業名：国際大会の開催ならびに支援、国際大会のより良い運営の検討

事業内容：1. 日本テニス全体の向上を目指した国際大会の開催ならびに支援

- (1) デビスカップ、フェドカップ 2011年度の開催支援
 - ◆デビスカップアジア/オセアニアゾーングループ I 2回戦
(7月8日～10日)：対ウズベキスタン戦
 - ◆デビスカップワールドグループ 1回戦
(2月10日～12日)：対クロアチア戦
 - ◆フェドカップワールドグループIIプレーオフ
(7月16日～17日)対アルゼンチン戦
 - ◆フェドカップワールドグループII 1回戦
(2月4日～5日)：対スロベニア戦
- (2) ジャパンオープン 2011 (10月3日～9日)
- (3) 京都チャレンジャー2011 (3月5日～11日)
- (4) ジャパンオープンジュニア 2011 (10月24日～30日)
- (5) 大阪市長杯ワールドスーパージュニア 2011 (10月17日～23日)
- (6) ジャパンウーマンズオープンテニス 2011 (10月10日～16日)
- (7) 各種公認大会の開催支援
 - ◆男子\$15,000大会(大洗オープン)の申請を受け付けた。
- 2. 国際大会の承認および新規国際大会の開催準備
 - (1) 国際大会 2012年の検討および開催の承認
 - ◆男子\$15,000(大洗オープン)の承認および助言
 - (2) 国際大会 2011年の大会視察と翌年の開催週の検討
 - ◆震災の影響で日程調整を実施(中止・延期等)
 - (3) 新設国際大会の調査、検討、承認
 - ◆男子\$15,000(大洗オープン)サイトチェック
- 3. 国際大会のより良い運営の検討
 - (1) 他委員会との連携を密にしより良い計画、運営を図る
 - ◆審判委員会・ドクター・トレーナー部会と連携
 - (2) 国際大会開催、運営、他に関するマニュアルの更新

事業区分：5

事業名：ジュニア大会のより発展と活性化に協力

事業内容：1. 全国で開催されるジュニア大会の発展および活性化に協力し、選手の強化を支援する。

- (1) トヨタジュニアテニストーナメント（震災により中止）
- (2) 全国選抜ジュニアテニス選手権大会（5月19日～22日）
- (3) 全国小学生テニス選手権大会（7月28日～30日）
- (4) 全日本ジュニアテニス選手権大会（7月31日～8月7日）
- (5) U-13 全国選抜ジュニアテニス大会（10月21日～23日）
- (6) U-15 全国選抜ジュニアテニス選手権大会（11月2日～6日）
- (7) JOCカップ 全日本ジュニア選抜室内テニス大会（11月24日～27日）

事業区分：6

事業名：ジュニア大会に関する事項

事業内容：1. ジュニア大会運営等の環境整備

- (1) ジュニア大会スケジュールに関わる事項
 - ◆2013年度インターハイ開催時期変更に伴う日程検討
- (2) ジュニア大会のディレクター、レフェリーに関わる事項
 - ◆審判委員会、ジュニア委員会と検討し決定

以上

ドクター・トレーナー部会（部会長：別府 諸兄）

事業区分：11

事業名：ドクター・トレーナーの派遣

平成24年度ドクター・トレーナー派遣

ドクターおよびトレーナーの派遣に関しては、下記表のとおりである。

- ・ドクター派遣に関しては、主要大会への派遣が行われているが、地域大会での派遣状況については常駐なしまたは不明が多く、医事的な問題が起きても対処できない。
 - ・トレーナー派遣は、国際大会に関しては活動基準、配備申請などをお願いしているものの、いまだ半数以上は、トレーナーの配備申請もなく現状が把握できないところが多い。
 - ・活動状況、費用、日当などの取り決めをしているが、一向にそれを満たした条件での要請はなく、有名無実の状態であり今後の課題である。
- 少なくとも、メディカル体制についての各トーナメントの状況を知る上で全トーナメント（国際、ジュニア大会）からの派遣申請、配備申請の提出を義務付けたい。

《ドクター、トレーナーの派遣大会》

備考：○=派遣あり ×=派遣・申請なし 数字=派遣人数 ?=不明

【ナショナルチーム】

	大会名	会場	DR	AT	JTA	現地
1	フェドカップ WGII (アルゼンチン)	兵庫	1	1	○	-
2	デビスカップ AOG 1 (ウズベキスタン)	兵庫	1	1	○	-
3	デビスカップ AOG 2 (インド)	東京	1	1	○	-
4	フェドカップ WGII (スロベニア)	兵庫	1	1	○	-

【国際大会 男子】

	大会名	会場	DR	AT	JTA	現地
1	F5 軽井沢フューチャーズ	長野	?	1	○	×
2	F6 かしわフューチャーズ	千葉県	?	?	×	?
3	F7 昭和の森国際男子テニス	東京	?	?	×	?
4	F8 JPTA 札幌国際オープン	北海道	?	1	×	○
5	ジャパンオープン	有明	1	3	○	×
6	F10 学生チャレンジ国際テニス (中止)	亜細亜大	×	1	○	JTA
7	ダンロップ・ワールドチャレンジテニス	豊田	1	2	○	ATP
13	京都チャレンジャー	京都	×	1	×	○
14	F1 亜細亜大学国際オープンテニス	亜細亜大	×	1	○	JTA
15	F2 早稲田大学フューチャーズ	早稲田	×	1	×	○
16	F3 甲府国際オープン	山梨	×	1	×	○
17	F4 筑波大学フューチャーズ	茨城	1	1	○	○

【国際大会 女子】

	大会名	会場	DR	AT	JTA	現地
1	カンガルーカップ国際女子	岐阜	?	1	○	JTA
2	福岡国際女子テニス	福岡	?	1	○	○
3	久留米ベストアメニティカップ	久留米	?	1	○	○
4	軽井沢国際女子	長野	?	1	○	○
5	メイワサンピア新潟女子国際テニス	新潟	?	?	?	?
6	COCOPA カップ三重国際女子オープン	三重	?	?	×	?
7	東京有明国際女子オープン I	有明	?	?	×	?
8	埼玉国際女子サーキット	埼玉	×	1	○	○
9	セキショウ国際女子オープン	茨城	×	1	○	JTA
10	JPTA 能登国際女子オープンテニス	石川	×	1	○	JTA
11	GS ユアサ国際女子オープン		?	?	×	?
12	東レパンパシフィックオープンテニス	有明	○	2	○	WTA
13	ジャパンオープンテニス	-	-	-	-	-
14	JAPAN WOMENS OPEN Tennis	大阪	1	×	×	WTA
15	東京有明国際女子オープン II (中止)	有明	-	-	-	-
16	ゴーセンカップ牧之原国際	静岡県	?	1	○	○
17	東急ハーヴェストカップ浜名湖	静岡県				
18	ダンロップ・ワールドチャレンジテニス	豊田	?	1	○	○
19	宮崎国際女子チャレンジャーテニス	宮崎	?	?	×	?
20	甲府国際女子オープン	山梨	?	1	○	○
21	亜細亜大学国際女子オープン	亜細亜大	×	1	○	JTA

備考：○=派遣あり ×=派遣・申請なし 数字=派遣人数 ?=不明

【一般大会】

	大会名	会場	DR	AT	JTA	現地
1	全国レディース決勝大会	昭和の森	1	2	○	JTA
2	全日本テニス選手権	有明 C	1	6	男女	JTA
3	島津全日本室内テニス選手権	京都	?		×	○

				1		
4	国民体育大会		?	?	?	?

【学生大会】

	大会名	会場	DR	AT	JTA	現地
1	関東学生テニストーナメント	東京	×	1	○	JTA
2	ユニバーシアード	中国	×	1	○	JTA
3	全日本学生テニス選手権	有明	×	3	○	JTA
4	関東学生テニス選手権	東京	×	1	○	JTA
5	全日本大学対抗テニス王座決定試合	岐阜	×	1	○	JTA
6	全日本学生室内テニス選手権	京都	×	1	○	JTA

【ジュニア大会】

	大会名	会場	DR	AT	JTA	現地
1	DUNLOPCUP 全国選抜ジュニアテニス選手権	千葉柏	×	1	×	○
2	アジア ATF U-14 シリーズトーナメント	山梨	×	?	×	?
3	全国小学生テニス選手権	東京	1	×	×	×
4	全国高校総体	奈良	?	?	×	?
5	全日本ジュニアテニス選手権	大阪・靱	1	2	○	JTA
6	全国中学生テニス選手権	山口宇部	×	1	○	JTA
7	兵庫国際ジュニアテニストーナメントⅠ	兵庫	×	1	○	JTA
8	全国高等専門学校テニス選手権	熊本	?	?	×	?
9	兵庫国際ジュニアテニストーナメントⅡ	兵庫	×	1	○	JTA
10	国民体育大会	新潟	?	?	×	?
11	世界スーパージュニアテニス選手権 (ITF : GA)	大阪・靱	1	2	○	JTA
12	RSK 全国選抜ジュニア	岡山	?	?	×	?
13	U-15 全国選抜ジュニア (中牟田杯)	福岡	?	?	×	?
14	ITF 埼玉国際ジュニアテニス (ITF:G4)	埼玉	?	?	×	?
15	全日本ジュニア選抜室内選手権	大阪	1	2	○	○
16	埼玉ジュニアテニス春季 (ITF:G5)	埼玉	?	?	×	?
17	全国選抜高校テニス	福岡	?	?	×	?
18	DUNLOP ジャパンオープンジュニア (ITF:G1)	愛知	×	1	○	JTA
19	トヨタジュニアテニス 2011	愛知	×	1	○	JTA

備考：○=派遣あり ×=派遣・申請なし 数字=派遣人数 ?=不明

事業区分：1 1

事業名：テニス障害の対策

1) 「テニス・メディカルセミナー」の開催

23年度は震災の影響で、1回の開催となったが、2講演と実習を行った。

① 「第33回テニス・メディカルセミナー」

期日：平成23年10月15日(土)

会場：聖マリアンナ医科大学・別館8階 臨床講堂

●講演

1.講師：脊山 洋右先生

(医学中央雑誌刊行会理事長、東京大学名誉教授、

お茶の水女子大学名誉教授、大学評価・学位授与機構客員教授)

演題名：「持久運動の糖質・水分補給に関わるサプリメント：代謝の観点から考える」
 2.講師：土肥 美智子先生(国立スポーツ科学センタースポーツ医学研究部副主任研究員)
 演題名：「トップアスリートのサプリメント摂取の実態と問題点」
 ●実習 スポーツテーピング実習—足関節—
 講師： 中尾公一トレーナー（デビスカップトレーナー・ケアステーション）
 参加者：75名

事業区分：11

事業名：選手の痙攣防止対策の立案・提言

事業区分：11

事業名：スポーツビジョン(スポーツに必要な視覚能力)の啓蒙と普及

事業区分：11

事業名：ドクター・トレーナー業務の充実

- 1) テニスメディカルスタッフ研修会を1回開催
 会場：聖マリアンナ医科大学難病治療研究施設セミナー室
 期日：平成23年10月15日(土)
 ①テクニカルサイエンスサポート部会より報告 中田研
 ②ドクター・トレーナー部会より報告 別府諸兄
 ③2011年1～10月の大会の報告(今年大会サポートを行ったドクター、トレーナーより)
- 2) 日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成講習会

事業区分：11

事業名：地域メディカルサポート体制の整備

- 1) 日本テニス協会医事委員会の復活の要請
 日本テニス協会医事委員会が無くなったため、ドクター・トレーナー部会、テクニカルサイエンスサポート部会、アンチ・ドーピング委員会の3つの合同ミーティングを行い、情報の共有化を図っている。
 このミーティングは、テニスメディカルスタッフ研修会およびテニス・メディカルセミナーの前に行っており、全国のドクターの協力体制をさらに強化できるものであり、また学会等で、さらにテニスを愛好されるドクターへの協力もお願いしている。日本体育協会の他のスポーツ団体と比較しても、大変活発なメディカルサポートを行っている日本テニス協会に医事委員会を是非復活させる必要がある。
- 2) 日本体育協会の公認スポーツドクター養成講習会への推薦

和田一佐（昭和大学整形外科）
森川大智（順天堂大学整形外科・スポーツ診療科）
乾 貴博（札幌徳洲会病院）
鎌田雄策（大久保病院）
田中基貴（船橋整形外科病院）
武井聖良（東京大学附属病院）

以上

ビーチテニス部会（部会長：川廷 尚弘）

事業区分：1 1

事業名：大会の開催並びに支援、より良い運営の検討・サポート

事業内容：1.日本のビーチテニス界全体の向上を目指した大会の開催並びに支援

*ITF 公認国際大会：年間 14 大会

*JTA Beach Tennis Tour：年間 1 大会

- (1) ITF 大磯大会 tournament (4/24) 日本ビーチテニス連盟主催
- (2) ITF 葉山大会 tournament-1 (5/14) 日本ビーチテニス協会主催
- (3) ITF 鶴沼大会 tournament-1 (5/22) 日本ビーチテニス連盟主催
- (4) ITF 平塚大会 tournament-1 (6/19) 日本ビーチテニス連盟主催
- (5) ITF 片瀬大会 tournament-1 (7/17) 日本ビーチテニス連盟主催
- (6) ITF 関西/兵庫大会 tournament (7/30) 日本ビーチテニス協会主催
- (7) ITF 片瀬大会 tournament-2 (8/21) 日本ビーチテニス連盟主催
- (8) ITF 葉山大会 tournament-2 (8/27) 日本ビーチテニス協会主催
- (9) ITF 岡山大会 tournament (9/18) 日本ビーチテニス協会主催
- (10) ITF 平塚大会 tournament-2 (9/25) 日本ビーチテニス連盟主催
- (11) JTA サンマリンカップ tournament (9/25) 日本ビーチテニス協会主催
- (12) ITF 台場大会 tournament (10/10) 日本ビーチテニス協会公認
- (13) ITF 鶴沼大会 tournament-2 (10/16) 日本ビーチテニス連盟主催
- (14) ITF 福岡大会 tournament (10/30) 日本ビーチテニス協会主催
- (15) ITF 宮崎大会 tournament-1 (3/20) 日本ビーチテニス協会主催

事業区分：1 1

事業名：会議の開催

事業内容：ビーチテニス界の環境整備のための会議の開催

- ①第1回部会会議（12/26）岸記念体育会館会議室
 - ◆本年度大会報告
 - ◆ルール・規約の改正について
 - ◆ランキングの管理/作成について
 - ◆海外取得ポイントの処理および団体統一の ID 番号について
- ②第2回部会会議（3/14）岸記念体育会館会議室
 - ◆ジャパンオープンでの大会/イベント開催に関して
 - ◆ランキングの管理/作成について
 - ◆ITF大会の申請およびグレード決定について
 - ◆その他、ビーチテニス普及に関する事項の確認

以上

国体委員会（委員長：森 清吉）

事業区分：2

事業名：第35回全日本都市対抗テニス大会抽選会ならびに準備等

事業内容：抽選会及び会場最終視察並びに開催準備

期 日：平成23年6月22日（水）

場 所：岐阜県岐阜市（長良川テニスプラザ、ファミリーパークテニス場）

出席者：森清吉（国体委員長）、杉澤雅敦（副委員長）、鈴木宏（JTA事務局）、
岐阜県テニス協会、岐阜市

内 容：競技施設の最終確認、都市対抗組合せ抽選

事業区分：2

事業名：第72回国民体育大会（愛媛県）第1回中央競技団体正規視察

事業内容：国体開催会場の正規視察と運営に関する指導及び助言

期 日：平成23年8月4日（木）～8月5日（金）

場 所：愛媛県松山市（愛媛県総合運動公園庭球場、松山中央公園テニスコート他）

出席者：森清吉（国体委員長）、杉澤雅敦（副委員長）、鈴木宏（JTA事務局）
愛媛県テニス協会、愛媛県、松山市

内 容：①国体テニス競技会場ならびに練習会場の視察
②宿泊、輸送、競技運営に関する指導及び助言

事業区分：11

事業名：国体委員会の開催

事業内容：第1回国体委員会（本委員会後に 第35回全日本都市対抗代表者・監督会議実施）

期 日：平成23年7月21日（木）14：30～15：40

場 所：長良川国際会議場4F「大会議室」

出席者：森国体委員長、杉澤副委員長、佐伯・松本・田中常任委員
奥村・浅沼・磯部・磯辺・荒谷・福井・堀川・田辺各委員
鈴木 JTA 事務局

陪席者：岐阜県 TA、東京都 TA、和歌山県 TA、長崎県 TA
※各県行政関係者含む

内 容：①公益財団法人 日本体育協会報告の件
②岐阜県都市対抗テニス大会（国体テニス競技を含む）の件
③山口国体テニス競技の件
④国体ならびに都市対抗準備状況報告の件
（東京都、長崎県、和歌山県）
⑤各地域報告、その他

事業区分：2

事業名：全日本都市対抗テニス大会の実施

第35回全日本都市対抗テニス大会（第67回国民体育大会リハーサル大会）

事業内容：都市対抗団体トーナメントの実施

期 日：平成23年7月22日（金）～24日（日）

会 場：岐阜県岐阜市・長良川テニスプラザ

参加人数：32チーム381人

事業区分：11

事業名：国体委員会の開催

事業内容：第2回国体委員会

期 日：平成23年9月9日（金）12：00～14：00

場 所：岸記念体育会館 1階102会議室

出席者：森国体委員長、杉澤副委員長、佐伯・松本・田中常任委員
奥村・浅沼・宮崎・磯部・磯辺・荒谷・福井・堀川・田辺各委員
鈴木 JTA 事務局

陪席者：山口県、岐阜県、東京都、長崎県
（テニス協会ならびに行政関係者含む）

内 容：①公益財団法人日本体育協会報告の件
②山口国体の件（シード、選手等）
③国体ならびに都市対抗準備状況報告の件
（岐阜県、東京都、長崎県、和歌山県、岩手県）

④各地域報告、その他

事業区分：2

事業名：第66回国民体育大会抽選会並びに準備等

事業内容：山口国体テニス競技の参加資格確認ならびに各種目の組合せ抽選の実施

期 日：平成23年9月9日（金）14：00～15：30

場 所：岸記念体育会館 1階102号会議室

出席者：森国体委員長、杉澤副委員長、佐伯・松本・田中常任委員
奥村・浅沼・宮崎・磯部・磯辺・荒谷・福井・堀川・田辺各委員
鈴木 JTA 事務局

陪席者：山口県、岐阜県、東京都、長崎県
（テニス協会ならびに行政関係者含む）

抽選立会：（公財）日本体育協会 国民体育大会委員会委員 金子 正子
事務局長代理 川島 雄二

事業区分：11

事業名：国体委員会の開催（本委員会後に第66回国民体育大会代表者・監督会議実施）

事業内容：第3回国体委員会

期 日：平成23年10月1日（土）14：30～15：45

場 所：岩国国際観光ホテル 4階「蘭」

出席者：森国体委員長、杉澤副委員長、佐伯・松本・田中常任委員
奥村・浅沼・宮崎・磯部・磯辺・荒谷・福井・堀川・田辺各委員
鈴木 JTA 事務局

陪席者：山口県、岐阜県、和歌山県
（テニス協会ならびに行政関係者含む）

内 容：①公益財団法人日本体育協会報告の件
②山口国体の件（代表者・監督会議、選手・監督変更の件他）
③国体ならびに都市対抗準備状況報告
岐阜県、東京都、長崎県、和歌山県、岩手県、愛媛県
④国体・都市対抗参加枠の件
⑤ダブルエントリーの件

事業区分：2

事業名：第66回国民体育大会（山口県）開催

事業内容：第66回国民体育大会テニス競技

期 日：平成23年10月2日（日）～5日（水）

場 所：山口県岩国市・岩国市テニスコート（砂入り人工芝16面）
山口県周南市・キリンビバレッジ周南庭球場（砂入り人工芝16面）

参加人数：成年男子32都道府県64名、成年女子32都道府県64名
少年男子47都道府県141名、少年女子47都道府県141名
合計 410名

事業区分：7

事業名：公益財団法人日本体育協会 国体委員会への出席

- ①平成23年度第1回国体競技運営部会 平成23年6月21日（木）
- ②平成23年度第1回国体ワーキンググループ 平成23年10月24日（月）
- ③平成23年度第2回国体ワーキンググループ 平成23年11月21日（月）
- ④平成23年度第3回国体ワーキンググループ 平成23年12月8日（木）
- ⑤平成23年度第4回国体ワーキンググループ 平成24年3月13日（火）

以上

ベテラン委員会（委員長：土屋 善二）

全国ベテラン委員会、常任委員会他、平成 23 年度中に 5 回の委員会を開催し、ベテラン大会の活性化と諸問題を協議、各種大会の運営に協力を行った。特に 23 年度に於いては、昨年 5 年ぶりに JOP 制度を見直し、JOP ポイント配点表を全面的に改正予選制度によるポイントを付与し、選手の大会への参加を容易にした。結果を分析しさらに懸案であった全大会のグレードを変更し 24 年 4 月から実施することとし、さらなるベテラン大会の活性化を推進した。

事業区分：2

事業名：第 72 回全日本ベテランテニス選手権大会の開催

事業内容：日程：平成 23 年 10 月 3 日（月）～10 月 14 日（金）

種目：男子単 35,40,45,50,55,60,65,70,75,80 才以上 10 種目

男子複 35,40,45,50,55,60,65,70,75,80 才以上 10 種目

女子単 40,45,50,55,60,65,70 才以上 7 種目

女子複 40,45,50,55,60,65,70,75 才以上 8 種目 以上 35 種目

会場：名古屋市・東山公園テニスセンター

（室内外共砂入り人工芝コート 20 面＊内 4 面室内）

グレード：A

補足：JTA 当該年度(2011 年度)の選手登録を行った選手・プロフェッショナル登録者で JOP ランキング上位者。

事業区分：2

事業名：第 35 回全日本グラスコートベテランテニス選手権大会の主催及び運営協力

事業内容：本戦：平成 23 年 11 月 7 日（月）～11 月 20 日（日）

種目：男女単複 35 種目(全日本ベテラン大会に準じた種目)

会場：佐賀市・グラスコート佐賀テニスクラブ（天然芝コート 16 面）

抽選会：平成 23 年 9 月 22 日(木) 九州テニス協会会議室

参加資格：①JTA に当該年度（2011 年度）の選手登録を行なった選手・プロフェッショナル登録者

②ベテラン JOP ランキング規程によるベテラン JOP 取得者

グレード：B1

補足：①本年度 35 回大会で全日本ベテラン大会は終了することとなった。

②全日本ベテラン選手権大会につぐ大会であり、天然芝コートでの大会である。

事業区分：2

事業名：47 都道府県協会主催ベテラン JOP グレード E 大会 F G H 大会の推進と運営協力

事業内容：ベテランテニスの発展拡充計画の一方策である JOP 大会を公認し、グレード E 大会（都道府県単位で開催）は、各協会のご協力を得て、23 年度 E1（オープン）は 37 大会、E2（クローズ）は 26 大会、計 63 大会が開催された。

グレード F G H 大会（市町村・クラブ単位で開催）は身近な大会でもあり、昨年の 62 大会。本年度は 65 大会承認した。ベテラン選手登録者は昨年 3 月末 7773 名。本年 3 月末現在 7801 名である。高齢化社会に伴い、今後更なるベテランプレイヤーの増加を見込み、各種の大会開催の環境を整備し、充実した運営に協力した。

事業区分：2

事業名：日本スポーツマスターズ・テニス競技の運営と協力

事業内容：主催者公益財団法人日本体育協会の委託事業として第 11 回本大会を共同主催し、運営主管の石川県テニス協会の運営に協力した。

抽選会：平成 23 年 8 月 1 日（月）

岸記念体育会館 505 号会議室

前夜祭：平成 23 年 9 月 16 日（金）「ホテル日航金沢」にて

期 日：平成 23 年 9 月 17 日（土）～20 日（火）

会 場：石川県能美市辰辰口丘陵公園テニスコート

開始式：平成 23 年 9 月 17 日（土）9:00～

開始宣言.....大会ディレクター 土屋善二

大会会長挨拶.....日本テニス協会副会長 田中耕二

歓迎の言葉.....石川県テニス協会会長 井口英樹

〃能美市市長 酒井悌次郎

紹介及び挨拶.....大会シンボルメンバー 佐藤直子

競技説明.....大会レフェリー 畑 稔

種 目：男子単 35 才以上、複 45 才以上、女子単複 40 才以上 4 種目

参加資格：JTA 選手登録者にして、各都道府県協会の推薦（推薦方法は任意）による
男女単複各 1 名 1 組（主管担当県は 2 名 2 組）48 ドローとする。

参加人数：男子単 48 名、複 48 組（96 名）計 144 名

：女子単 48 名、複 48 組（96 名）計 144 名 合計 288 名

スポーツ教室：9 月 17 日(土)9：00～12：00

大会シンボルメンバー佐藤直子氏による小学生を対象とするスポーツ教室
が開催された。参加人数 35 名。

補 足：全種目不参加県は、北海道、佐賀県、鹿児島県であった。

事業区分：3

事業名：国際ベテラン大会への選手派遣

事業内容：①2011 年世界ベテランテニス選手権大会(B クラス)

参加国：28 ヶ国 150 チーム

会 場：トルコ アンタリア

日 時：10 月 10 日～10 月 16 日

参加種目：男子 70 才・75 才以上、女子 65 才以上 3 チーム

男子 70 才以上 17 位(20 チーム中)

男子 75 才以上 10 位(19 チーム中)

女子 65 歳以上 12 位(16 チーム中)

②アジア都市対抗ベテラン大会

本大会は、アジア地域ベテランテニスプレーヤーの相互理解と友情を深めると共に、
ベテランテニスを通じて、国際親善に大いに貢献する事を目的として、1986 年より
開催され、本年度も日本選手団一チームを派遣した。

主 催：アジアテニス連盟 (ATF)

期 日：平成 23 年 11 月 14 日（月）～17 日（木）4 日間

会 場：台湾 台北・桃園市

種 目：男子複 55,60,65,70,75 才以上各 1 組

女子複 60,65 才以上各 1 組 計 7 組による団体戦

補 足：参加 10 チーム中準優勝の活躍

③第 24 回北京市国際元老網球大会

主 催：北京市網球協会 北京市元老網球協会

期 日：平成 23 年 6 月 24 日（金）～30 日（木）7 日間

会 場：中国・北京市、天津氏

種 目：男子ダブルス 9 種目 シングルス 7 種目 計 16 種目

女子ダブルス 7 種目 シングルス 6 種目 計 13 種目

混合ダブルス 3 種目

参加人数：11 名（現地参加 2 名含む）

事業区分：7

事業名：公益財団法人日本体育協会主催日本スポーツマスターズ委員会への出席

事業内容：①スポーツマスターズ 2011 石川大会第1回連絡会議

期日：平成23年5月9日

②スポーツマスターズ 2011 石川大会第2回連絡会議

期日：平成23年6月22日

③スポーツマスターズ 2011 石川大会第3回連絡会議

期日：平成23年8月30日

④スポーツマスターズ 2011 石川県大会第4回連絡会議

期日：平成23年11月29日

以上

実業団委員会（委員長：矢澤 猛）

事業区分：2

事業名：1.第26回テニス日本リーグの開催

2.第25回全国実業団対抗テニストーナメント（A大会）の開催

3.第50回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス）の開催

4.定例会議、日本リーグ関係会議他の開催

5.キャリアサポート部会の運営

6.実業団学生交流会等の共同イベントの開催

7.事務局業務委託管理

事業内容：

1. 第26回テニス日本リーグの開催

(1)1st ステージ：平成23年12月1日(木)～4日(日)

会場：横浜国際プール・兵庫ブルボンビーンズドーム

(2)2nd ステージ：平成24年1月20日(木)～22日(日)

会場：横浜国際プール・兵庫ブルボンビーンズドーム

(3)決勝トーナメント：平成24年2月10日(金)～12日(日)

会場：東京体育館

男子16チーム、女子10チームをそれぞれ2ブロックに分けリーグ戦を行い、男子は各ブロック上位3チーム計6チーム、女子は上位2チーム計4チームによる決勝トーナメントの実施。試合は2シングルス・1ダブルスにて行う。

ファースト・セカンドステージの試合会場については、横浜国際プールと兵庫ブルボンビーンズドームの2会場開催になった。

東京体育館の決勝トーナメントは、男子準々決勝から開始、1位～6位までの順位決定を行った。また、土・日曜日の試合開始前にチアダンス（玉川大学）チアリーディング（日本女子体育大学）の演技を開催し大会を盛り上げた。準決勝戦および決勝戦・3位決定戦は同時試合開始形式で行い、チーム関係者や学生、一般の応援者が会場に足を運んでくれた。大会を盛り上げるためにヨネックスブースの出展や、各出場チームからの協賛商品の抽選、明るい色をスタッフウェアに使う配慮、臨場感を味わってもらうためにコートサイドの観覧席を設置し全体として選手・運営・観客の一体化が進んでいる。

広報においては、決勝トーナメント開催前に日本経済新聞の朝刊紙面を使い告知記事を掲載したり、テニス雑誌には特集記事を組んでもらい、ホームページではテニスナビの協力を継続し、今回からTwitterやYouTubeの利用も取り入れ観客動員を目的としながら一般社会に向けたアピールをした。

アンチ・ドーピング対象大会の指定が継続され検査が実施された。

尚、今後の日本リーグの発展にむけて、各方面の意見を聞きながら引き続いて検討していく。

2. 第25回全国実業団対抗テニストーナメント(A大会)の開催

平成23年10月7日(金)～10日(月・祝)

会場：広島広域公園テニスコート

日本リーグ昇格チーム決定の大会で、男子16チーム、女子15チームにより行われ、男子は上位4チームが昇格を決めた。女子は上位2チームが日本リーグ降格2チームと入れ替え戦を行い2チームが昇格。試合は日本リーグと同じく2シングルス・1ダブルスにて行う。

A大会に参戦する女子チームの減少傾向であったが、補強選手登録制度を利用したチームも増えてきている。勝ち進んだ場合に日本リーグへの昇格意思を示すチームも増えてきているのは明るい材料である。

3. 第50回全国実業団対抗テニス大会(ビジネスパル・テニス)の開催

平成23年8月26日(金)～28日(日)

会場：旭川市 花咲スポーツ公園テニスコート他

男子32・女子24チームの1シングルス・2ダブルスによるリーグ戦及びトーナメントを行う。リーグ戦各ブロックの同順位毎にトーナメントを行うため全チーム2～3日間にわたり試合を行う。北海道・旭川で初めての開催を行い、旭川市、旭川テニス協会の協力のもと効率の良い大会運営を行った。400名を超す懇親会も大いに盛り上がり観光を含め好評の大会となった。大会を活性化していくために全国委員会で議論をし改善できるところから実行に移している。

4. 定例会議、日本リーグ関係会議他の開催

(1)全国実業団委員会

①第1回全国実業団委員会：平成23年7月2日(土) 会場：千代田区スポーツセンター

②第2回全国実業団委員会：平成24年3月3日(土) 会場：千代田区スポーツセンター

(2)全国実業団常任委員会

①第1回常任委員会：平成23年5月7日(土) 会場：千代田区スポーツセンター

②第2回常任委員会：平成23年10月1日(土) 会場：千代田区スポーツセンター

(3)日本リーグ部長会

①第1回部長会：平成23年5月7日(土) 会場：千代田区スポーツセンター

②第2回部長会：平成23年10月1日(土) 会場：千代田区スポーツセンター

(4)日本リーグ監督会議・運営委員会：

平成23年11月26日(土) 会場：千代田区スポーツセンター

(5)検討委員会

①日本リーグ検討委員会：平成23年4月2日(土) 会場：千代田区スポーツセンター

5. キャリアサポート部会の開催

平成23年10月17日(月)に南国飯店にて、平成24年3月28日(火)にスポーツマンクラブにて、キャリアサポート部会を開催した。新しい部会と言うことで、まずは各関係者とのヒヤリングを行い、どのような活動を進めていくのかを検討し、平成24年度には具体的な作業に移行できるよう準備を進めた。

6. 実業団学生交流会等の共同イベントの開催

平成23年1月28日、29日の両日、亜細亜大学テニスコートにて学生委員会との共同イベントとして実業団チームと学生選手達との交流会を開催した。

7. 実業団事務局委託管理

平成21年度より業務内容を継承している業務委託先(TSO)で実業団事務局を運用し、実業団委員会の大会・行事を滞りなく終了し年間を通して事務局業務を遂行した。

以上

審判委員会（委員長：岡村 徳之）

事業区分：4

事業名：国際審判員、レフェリー養成事業の開催

- 事業内容：1.有望新人の発掘と審判員育成のために各大会において評価を実施
2.ITF ナショナルレベルスクール開催： 4月 岐阜 12名
3.バッジホルダー主審のためのリフレッシュスクール開催：
11月 名古屋 12名
4.審判員育成のため国内 ITF 大会へ派遣の旅費、宿泊の補助を行った
5.審判・レフェリー強化プロジェクトの実施：通期 10名中2名目標達成

事業区分：4

事業名：国内審判員養成、拡大事業への開催

- 事業内容：1.C級審判員認定会への講師派遣：26回開催・ 合格者総数491名
2.B級審判員認定会 1月7, 8日 大阪 合格者28名
3.B級レフェリー認定会：1月8, 9日 大阪 合格者11名
4.B級チーフアンパイア認定会：1月9日 大阪 合格者24名
5.A級審判員エバリュエーション：11月 東京 新規認定1名
6.A級レフェリー認定：通期 新規認定1名
7.関西学生連盟の講習会：8月21日 大阪 120名
専門学校等の講習会誘致：年間3回実施（C級開催実績に含む）
8.ルール・実技講習会の実施：年間12回実施
9.国体審判員育成のためマニュアル検討し実技指導を行った

事業区分：2

事業名：審判員派遣事業の開催

- 事業内容：1.各種大会へレフェリー、チーフアンパイア、主審、線審の派遣を行った
国際大会 288名（レフェリー、チーフ、主審）・2048名（線審延べ人数）
国内大会 47名（レフェリー、チーフ、主審）・694名（線審延べ人数）
全日本選手権、全日本室内、日本リーグ
ITF 男子フューチャーズ 7大会
ATP チャレンジャー 2大会
ITF 女子サーキット 17大会
WTA ツアー 2大会
ITF ジュニア 5大会
ATF ジュニア 1大会
ITF 車いす 1大会
JTA 大会 3大会
2.海外大会への派遣を行った
グランドスラム大会、ユニバーシアード、WTA・ATP・ITF 大会
3.大会に派遣した審判員よりレポートを提出してもらい情報集積した
4.オーストラリア、カナダ、韓国、台湾との Official Exchange を行った
5.大会運営に必要な外国人審判員の受入れ・調整を行った

事業区分：8

事業名：ルールブックの編集と発行事業の開催

- 事業内容：ルールブック2012の編集と出版 20000部
ルールに関する問い合わせへの回答 年間 60回

事業区分：4

事業名：公認審判員管理登録事業の開催

事業内容：1.審判員の登録管理

2.新規登録並びに登録更新

2011年度手続き	C級審判	983名	B級審判	278名
	B級レフェリー	60名	B級チーフ	24名

事業区分：11

事業名：他スポーツ・諸外国テニス界の審判育成システムの調査事業の開催

事業内容：諸外国テニス界の審判育成システムの調査を行うため派遣したメンバーからのレポートによる調査を行った

事業区分：11

事業名：審判関連情報提供事業の開催

事業内容：審判募集・活動報告・講習会等 JTA ホームページでの案内を行った

下半期からフェイスブックを導入した結果、問い合わせが30名その内15名が新たな人材として獲得できた

以上

専務理事直轄

全国プロジェクト（委員長：小浦 猛志）

事業区分：11

事業名：47都道府県トレーニングセンター（ふるさとトレセン）設置及び推進に向けた活動

事業内容：本委員会の活動目標である、JTA強化指導指針(2002年策定)におけるトレセン構想の実現に向け、本年度もふるさとトレセンの設置ならびに承認に係る推進期間として、各県の設置申請の受理及び承認するためのアセスメントを行った。

また、以前より継続的に行っているJTAワンコイン制度の定着と発展ならびに国体テニス競技におけるテニスコートサーフェスの検討については、本プロジェクト委員が都道府県を訪問する機会に合わせて、その具現化に取り組んだ。

以上

財務管理委員会（委員長：岡橋 修）

事業区分：11

事業名：JTAの健全な財務体制確立と維持及び適正な会計処理に向けて提言を行う。

事業内容：

1. 財務管理委員を増員し強化を図った。
2. 公益財団法人移行に伴う税制メリットを強調しての寄付金増強施策を検討。
3. JTAのマーケティング強化、ブランディングを浸透させて財源確保にも寄与出来る体制構築につき議論。
4. 「Gプロジェクト」等の諸プロジェクト遂行を支援する資金確保施策を検討、新年度から具体的に動き出すことを目指す。

JTAと財界を結ぶ「悠遊テニス会」を二回開催、財界要人との関係強化を図った。

以上

常務理事会直轄

倫理委員会（委員長：浅沼 道成）

事業区分：11

事業名：倫理規程の浸透と徹底ならびに倫理観の醸成

事業内容：平成23年においても本会倫理規程の浸透ならびに倫理観の醸成を活動の視点と定めた。また、倫理委員会宛に寄せられた情報提供や訴え等の問題に対しては、倫理委員会において調査および検証を行なったが、本年度も幸運にも委員会として対応すべき問題の発生は避けられた。

しかし、本会全体の活動を抑制された現状もあり、本委員会は倫理問題への事後的対処に終始するだけに終わっているため、今後は未然に防ぐことと発生を予防する施策についても論議を行い、テニス界の公明正大でかつ健全化の実現に努めたい。

事業区分：11

事業名：倫理規程の改定

事業内容：公益財団法人移行に伴い、現行規程の整合性を検討し、公益法人化対策委員会とともに倫理規程の改定を行った。

以上

危機管理委員会（委員長：浅沼 道成）

事業区分：11

事業名：危機管理の徹底と安全対策の向上

幸いにも、危機管理が求められた事例はなかったが、国内外に於ける事故・事件・災害を回避する安全対策を講じ、事故・事件・災害が発生した際の情報の収集及び伝達と対処を行うための取り組みはできていなかった。次年度に向けた課題となった。

以上

国際委員会（委員長：川廷 尚弘）

1. 国際テニス連盟及びアジアテニス連盟、日本オリンピック委員会他団体の会議出席、並びに行事への参加。海外各国協会、大会への協力活動、及び関係者への対応と情報伝達

(1) 国際会議への派遣

1) 国際テニス連盟 (ITF) 関係

① 年次総会

2011年9月21日～24日 於：タイ、バンコク

出席： 川廷栄一 (ITF 名誉副会長)

内山 勝 (JTA 代表)

川廷尚弘 (JTA 代表)

内容： 理事選挙、大会、行事、財務他の報告と提案、討議。規約の改正、会員資格の認定、競技規則の変更等を承認。

② 事務局：

川廷尚弘、熊井ゆり、中川淳が ITF 事務局との折衝に従事。

2) アジアテニス連盟 (ATF) 関係

① 年次総会

総会：2011年6月11日～12日 於：ウズベキスタン、タシュケント

出席：川延榮一 (ATF 名誉会長)

内山 勝 (JTA 代表)

川延尚弘 (JTA 代表)

内容：理事選挙、大会、行事、財務、その他の報告と討議。役員改正規約の改正の承認。

2. 海外国際大会への出席、及び総合国際競技会への参加

2011年6月 ウィンブルドン (ITF と各国代表との会合)

2011年9月 全米オープン (各国代表と会合)

2011年9月 韓国オープン (韓国テニス協会との会合)

3. 国際団体会議・行事への出席

(1) 国際会議への出席

1) 国際テニス連盟

オリンピック委員会

出席：川延榮一 (オリンピック委員)

Recognition & Reward 評議会

出席：川延榮一 (R & R 委員)

女子サーキット委員会

出席：川延尚弘 (女子サーキット委員)

以上